

成蹊大学社会調査実習 2013 年度報告書
——第 5 回 暮らしについての西東京市民調査——

成蹊大学社会調査士課程 監修
香川めい、渡邊大輔 編集

目 次

第 I 部 この調査について

A 調査の概要	香川めい、渡邊大輔	1
B 統計用語	小林盾	10
C 履修者一覧		13

第 II 部 調査結果

娯楽について

第 1 章 旅行	滝野敦美班	15
第 2 章 カラオケ	川合美斗班	19
第 3 章 映画	松野友飛班	23

ライフスタイルについて

第 4 章 お酒	松岡恵李奈班	27
第 5 章 睡眠	小林早紀班	31
第 6 章 お風呂	穂坂宏孝班	35
第 7 章 子育て	瀧野恵理班	39

第 III 部 資料

A 単純集計表、平均の比較、相関係数		43
B 自由回答		72
C 調査票		74
D 督促状		83

はじめに

本書は、「第5回暮らしについての西東京市民調査」の報告書です。成蹊大学文学部現代社会学科の「社会調査演習」という授業の一環として、2013年6月から8月にかけて東京都西東京市で実施しました。こうした調査は2006年度にはじまり、今回が8回目となります。

調査では、人びとが暮らしや地域についてどのように考えているのかを、明らかにすることを目的としました。そこで、成蹊大学が隣接する西東京市で、22～69歳の市民500人を選挙人名簿から無作為に選んで対象として、郵送調査を行いました。有効回収数298人、有効回収率60.2%です。

授業は、教員2名と学生で進めました。今年度は、例年この社会調査演習を担当している小林が研究休暇を取得したため、香川と渡邊が授業を担当しました。社会調査士課程の実習科目でもあり、全員が課程履修者でした。学生は関心のあるテーマごとに班に分かれて、調査票作成からデータ分析まで行います。毎週宿題が出るため、授業時間外での活動のほうが長かったようです。

以下は、「この調査について」「調査結果」「資料」という3つの部で構成されています。調査結果では、西東京市の人びとの姿を、さまざまな角度から浮かびあがらせることを目指しました。今回西東京市を事例として得られた知見は、地域活性化への課題など、他の地域でも当てはまることがあるかもしれません。今後も成蹊大学社会調査士課程では、同様の調査を続けていき、成果を地域社会に積極的に還元していきたいと考えています。

この調査を実施し、報告書を作成するにあたって、多くの方々からご協力いただきました。はじめに、回答してくださった方々に深く感謝いたします。選挙人名簿の閲覧では、西東京市選挙管理委員会の方々に変にお世話になりました。

成蹊大学文学部の先生方（とりわけ現代社会学科の先生方）、高瀬正弘氏、菅谷真弓氏、本郷有充氏、小谷野淑子氏、酒井麻里氏、鈴木はるか氏、坂田寛子氏はじめ成蹊大学教務部の方々には、社会調査士課程の運営環境を整えていただきました。

なお、この報告書は西東京市役所、市内図書館、成蹊大学図書館、成蹊大学ホームページでもご覧いただけます。

2014年1月 成蹊大学社会調査士課程
成蹊大学文学部現代社会学科 非常勤講師 香川めい
成蹊大学文学部現代社会学科 専任講師 渡邊大輔

この調査について A 調査の概要

香川めい、渡邊大輔

第 1 節 調査の概要

(1) 調査名

第 5 回（2013 年）暮らしについての西東京市民調査。略称は 2013 年西東京市調査。

(2) 調査実施者、調査実施責任者

実施者：成蹊大学社会調査士課程。

実施責任者：香川めい（成蹊大学文学部現代社会学科 非常勤講師）、渡邊大輔（成蹊大学文学部現代社会学科 専任講師）。

(3) 調査方法と調査期間（詳細は第 4 節参照）

郵送調査を 2013 年 6/20（木、調査票発送）～8/30（最後の調査票到着）におこなった。返送期限は 7/1（月）。督促状を 6/27（木）に発送。

(4) 母集団

2013 年 12 月 31 日時点で満 22～69 歳の西東京市民男女（1944 年 1 月 1 日～1991 年 12 月 31 日生まれ）。

(5) 計画標本

500 人。予備標本は使用していない。

(6) 抽出方法（詳細は第 3 節参照）

二段無作為抽出法。地点として 10 の選挙区を、人口規模を考慮して系統抽出した。そのうえで、各地点から 50 人を選挙人名簿で系統抽出した。

(7) 有効回収数、有効回収率（詳細は第 5 節参照）

298 人、60.2%。

(8) 謝礼

500 円の図書カード、Seikei ロゴ入りのボールペン。調査票に同封して先渡しとした。

第2節 調査の目的

この調査の目的は、人びとが地域の中でどのように生活しており、地域についてどのように考えているのかを明らかにすることにある。現代社会では、グローバル化が進む中で、ややもすれば地域社会との関わりが少なくなってきたかもしれないからである。

そのために、成蹊大学の北部にある東京都西東京市を、事例として取りあげた。西東京市は、東京都心部の近郊住宅地でありながら、自然を多く残している。この点で、日本社会の都市部の縮図といえるかもしれない。

なお、この調査は成蹊大学社会調査士課程における教育の一環であり、社会調査実習という授業の中で実施された。2006～2010年の5回は成蹊大学のある東京都武蔵野市を、2011年からは東京都西東京市を対象としている。西東京市調査としては、第1回が2009年に成蹊大学アジア太平洋研究センター共同プロジェクトとして、第2回が2010年に科学研究費補助金プロジェクトとして実施された（どちらも小林盾が代表）。

第3節 標本の抽出方法

(1) 地点の抽出

選挙区を単位とした。西東京市の全29選挙区から10選挙区を地点として、人口規模を考慮し系統抽出した。

(2) 個人の抽出

西東京市役所にて選挙人名簿を閲覧して、計画標本500人を系統抽出した。各地点から50人ずつとした。抽出間隔は25人で固定した。スタート番号は、あらかじめ各地点ごとに、母集団人数の範囲内でランダムに準備した。

サンプリングの手続きは、香川が西東京市役所にておこなった。選挙人名簿抄本閲覧申出書、調査企画書、調査票を提出した。

サンプリング作業は、6/6（木）午前9：30～11：00、教員2人（香川と渡邊）と学生14人でおこなった。

第4節 調査の実施方法

(1) 郵送調査

調査票、返信用封筒（切手貼付済み）、謝礼を封入して、封筒にて送信した（木曜日に発送して週末に届くようにした）。回収は匿名でおこなった。また、督促状を葉書で全員に発送した（返送期日直前の木曜日）。

なお、事前の告知や過去の報告書の同封は、おこなわなかった。

(2) 無効票、調査拒否

無効票は5票あった（いずれも住所不明として返送された）。

調査拒否は5票あった（調査拒否として返送された）。

(3) 問い合わせ

電話による問い合わせが 1 件、訪問による問い合わせはなかった。

(4) データ入力

2 人一組となり、入力フォームで入力した（2 時間でほぼ 20 票分）。入力は別々に 2 回行い、2 回の入力を Excel を用いて照らし合わせて入力データを確定させた。

(5) データクリーニング

無回答には「999」を割りふった。○が指定より多い場合は、サイコロを使用して選んだ（以上エディティング）。その後、アフターコーディングとロジカルチェックをおこなった。

第 5 節 回収状況

(1) 有効回収率

60.2%であった（計画標本 500 人、有効標本 495 人、有効回収 298 人）。2006 年度第 1 回調査では 51.5%（400 人、206 人）、2007 年第 2 回調査 66.5%（400 人、266 人）、2008 年第 3 回調査 74.0%（400 人、296 人）、2009 年第 4 回調査 71.7%（300 人、215 人）、2010 年 62.7%（300 人、188 人）、2011 年 59.5%（500 人、294 人）、2012 年 65.2%（500 人、326 人）であった。

なお、これまでの回収率の変化と要因について、2009 年には数理社会学会大会で（小林盾「回収率 70%への挑戦——郵送調査の可能性」第 47 回数理社会学会大会報告要旨集収録、2009 年 3 月 8 日、京都産業大学）報告され、2013 年には日本社会学会大会で（小林盾ほか「回収率 70%への挑戦」第 86 回日本社会学会大会、2013 年 10 月 13 日、慶應義塾大学）報告された。

(2) 性別、年齢別の回収率

表のとおりとなった。ただし、性別と年齢不明が 2 ケース、性別不明が 7 ケース、年齢不明が 3 ケースあったため、この 12 ケースを除いた。20 代から 40 代では男性の回収率が高かったが、50 代以上の年代では女性が高かった。

(3) 時系列での回収数

グラフのとおりとなった。督促状を 1 回発送し、効果はあったようである。

第 6 節 東京都西東京市について

東京都西東京市は東京 23 区の西側にあり、練馬区に接する。西東京市には西武池袋線と西武新宿線がとおり、池袋、新宿まで約 20 分である。2001 年に保谷市と田無市が合併してう

まれた。

人口は約 20 万人、世帯数は約 9 万である。人口密度は約 12,000 人（平方キロメートルあたり）で、市町村別で全国 4 位である（1 位東京都 23 区、2 位埼玉県蕨市、3 位東京都武蔵野市）。産業別では、第 1 次産業従事者がわずか、第 2 次産業約 1 割、第 3 次産業約 8 割となっている。

第 7 節 成蹊大学社会調査士課程について

成蹊大学文学部現代社会学科では、2004 年度から社会調査士課程を設置して、社会調査協会発行の社会調査士資格の取得に対応している。学生は 1 年次から 3 年次まで 6 つ（または 7 つ）の授業を履修することで、資格を取得できる。社会調査士課程室を中心に授業がおこなわれ、助手が学習をサポートしている。

この調査は、2006 年度に開始された。3 年次配当の社会調査演習（2012 年度より科目名が社会調査実習から変更）において、授業の一環として実施された。授業は毎週社会調査士課程室でおこなわれ、1 年間つづいた。

第8節 表とグラフ

(1) 日程

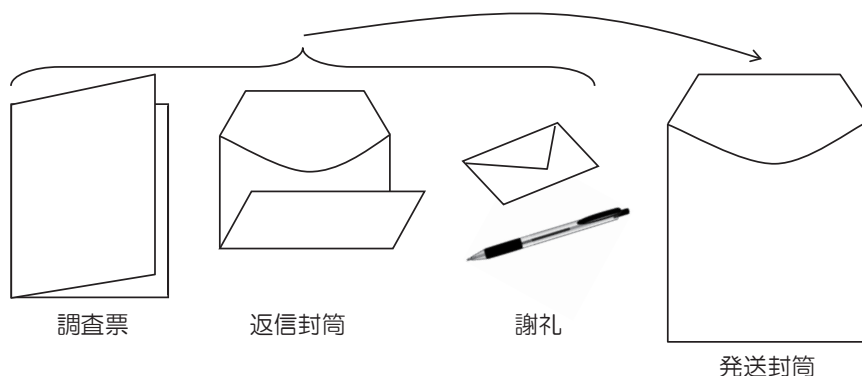
調査の進行	
4月	(前期授業開始) テーマを設定する
5月	仮説をたてる、質問をつくる
6月	調査票を作成する、サンプリングする(市役所にて)
7月	調査を実施する(調査票発送と回収)、データを入力する
8月	(夏休み)
9月	(後期授業開始) 集計する
10月	平均を比較する、相関係数をもとめる
11月	仮説を検証する、インタビューする
12月	報告書を作成する
1月	報告書完成
2月	専修大学見田朱子ゼミと合同発表会

(2) 地点の抽出

調査	実施年	対象地域	抽出された地点	地点の抽出方法
第1回	2006年	武蔵野市	吉祥寺南町2丁目、吉祥寺北町5、中町1、西久保1、緑町2、境1、境南町5、桜堤2	丁を単位として単純無作為(人口規模を考慮しない)
第2回	2007年	武蔵野市	吉祥寺東町2丁目、吉祥寺南町4、吉祥寺本町3、吉祥寺北町4、八幡町1、関前2、境3、境南町4	丁を単位として系統抽出(人口規模を考慮しない)
第3回	2008年	武蔵野市	吉祥寺東町3丁目、吉祥寺南町5、吉祥寺本町4、吉祥寺北町3、中町3、緑町3、境2、境南町3	丁を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第4回	2009年	武蔵野市	吉祥寺東町4丁目、吉祥寺本町1、吉祥寺北町2、西久保3、関前3、境南町2	丁を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第5回	2010年	武蔵野市	吉祥寺南町1丁目、御殿山2、吉祥寺北町1、西久保2、関前4、境南町5	丁を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第6回	2011年	西東京市	全34選挙区から10選挙区(第3、6、9、11、15、17、21、25、29、32選挙区)	選挙区を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第7回	2012年	西東京市	全34選挙区から10選挙区(第1、5、8、10、14、17、20、24、28、31選挙区)	選挙区を単位として系統抽出(人口規模を考慮)
第8回	2013年	西東京市	全29選挙区から10選挙区(第2、4、7、10、13、15、18、21、24、17選挙区)	選挙区を単位として系統抽出(人口規模を考慮)

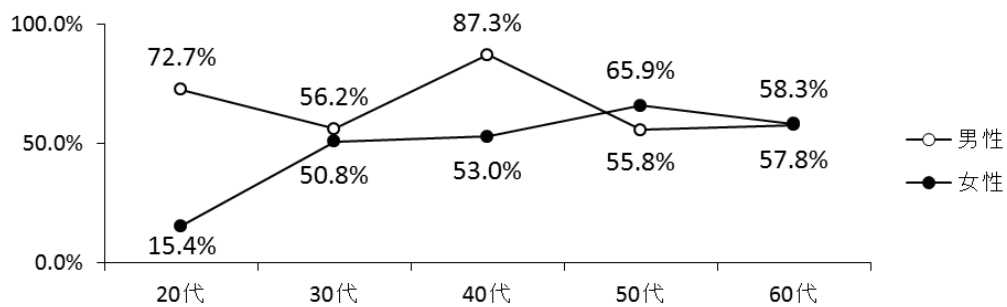
(3) 郵送調査の仕様と作業内容

	仕様	作業内容
調査票	A3 用紙 2 枚に両面印刷（業者依頼）。厚口、2 色（外側、内側うぐいす）の冊子。右端を 4 ミリほどずらした	
発送封筒	「社会調査士課程室」名入り角 2 号封筒、下部に「西東京市民のみなさまへ アンケートのお願いが入っています」と「謝礼が入っています」と朱字で印刷。記念切手使用	宛て先シールと 140 円分の切手を貼付
返信封筒	「社会調査士課程室」名入り角 2 号封筒、宛て先を「社会調査士課程室」印刷、下部に「アンケート回答 在中」と朱字で印刷	140 円切手を貼付。2 つ折り
督促状葉書	官製葉書（かもめ〜る使用）	文面をコピー機で印刷。宛て先シールを貼付
謝礼	500 円の図書カード。紙ケース入り Seikei ロゴ入りのボールペン	
留守番電話	6/20～8/30 設置、「こちらは成蹊大学社会調査士課程室です。開室時間は、月曜日、水曜日、木曜日の午後 1 時から午後 5 時です。ご用件があるかたは、ピーという発信音のあとに残してください」と録音	
大学ホームページ	6/21 以降にアナウンス、「新着情報・お知らせ」欄に「社会調査士課程室でアンケート調査を実施」として調査票第 1 ページ（PDF ファイル）へとリンク	



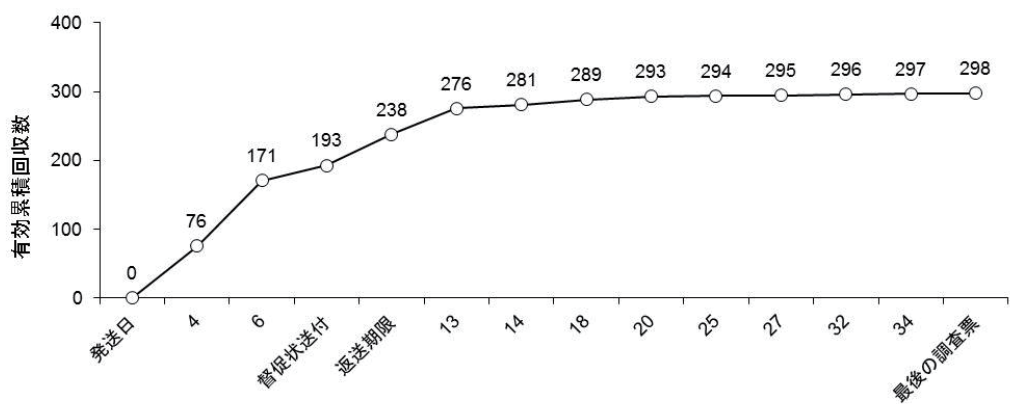
(4) 性別、年齢別の有効回収数（カッコ内回収率、性別年齢不明6ケースを除く）

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	24人 (72.7%)	41人 (56.2%)	55人 (87.3%)	24人 (55.8%)	26人 (57.8%)	170人 (66.1%)
女性	6人 (15.4%)	31人 (50.8%)	35人 (53.0%)	27人 (65.9%)	21人 (58.3%)	120人 (49.4%)
合計	30人 (41.7%)	72人 (53.7%)	90人 (69.8%)	51人 (60.7%)	47人 (58.0%)	290人 (58.0%)

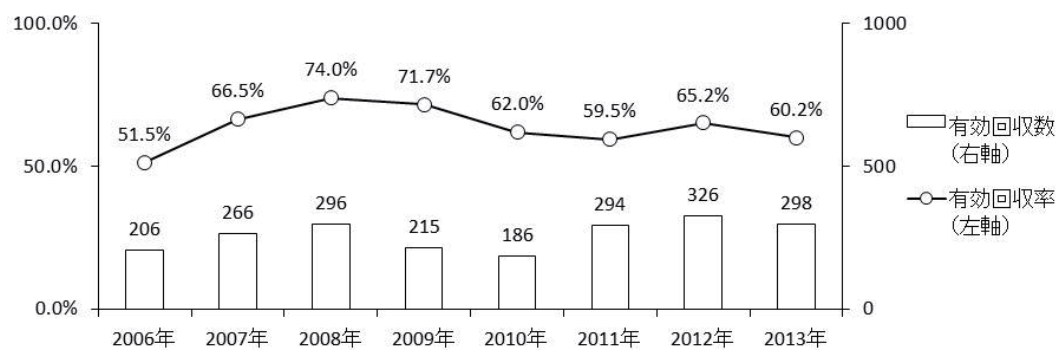


(5) 時系列での回収数

		日数	有効回収数	有効累積回収数	有効回収率
調査票発送	6/20 (木)	0	0	0	0.0%
	6/24 (月)	4	76	76	15.3%
	6/26 (水)	6	95	171	34.5%
督促状発送	6/27 (木)	7	22	193	39.0%
返送期日	7/1 (月)	11	45	238	48.1%
	7/3 (水)	13	38	276	55.8%
	7/4 (木)	14	5	281	56.8%
	7/8 (月)	18	8	289	58.4%
	7/10 (水)	20	4	293	59.2%
	7/15 (月)	25	1	294	59.4%
	7/17 (水)	27	1	295	59.6%
	7/22 (月)	32	1	296	59.8%
	7/24 (水)	34	1	297	60.0%
	最後の調査票到着	8/30 (金)	71	1	298



(6) これまでの有効回収率と有効回収数(2006～8年計画標本400、2009～10年300、2011～2013年500)



この調査について B 統計用語

小林盾

1 母集団と標本

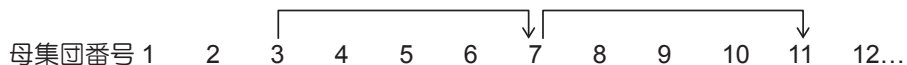
調査で知りたい人の全体を、母集団とよぶ。予算、時間、人員などに制限があるときは、母集団の一部を、標本として調査する。この調査の母集団である 22~69 歳の西東京市民は約 16 万人おり、標本である調査対象者は 500 人であった。

2 無作為抽出（ランダムサンプリング）と有意抽出

標本の各個人を同じ確率で選ぶことを、無作為抽出する（ランダムサンプリングする）という。標本が無作為抽出されたなら、調査対象者（標本）は、たとえ人数が少なくても、全体（母集団）の偏らない縮図とみなすことができる。無作為抽出されていないとき、「有意抽出された」という。この調査は、標本を無作為抽出している。

3 系統抽出法

無作為抽出をするための簡便な方法に、系統抽出法がある。これは、母集団から標本を等間隔に選んでいく方法である（ただし完全な無作為抽出法にはならない）。まず、1 人 1 人に母集団番号を振ってから、スタート番号を無作為に決めて、最初の標本とする。そのあとで、スタート番号から等間隔に、残りの標本を選ぶ。たとえば、スタート番号が 3 で、間隔が 4 であれば、つぎのように母集団番号 3、7、11、...が標本として選ばれる。



この調査では、選挙人名簿から調査対象者を選ぶときに、系統抽出法を用いた。地点ごとに、スタート番号を 2,124 などとし、間隔は 25 で共通とした。

4 単純集計表

ある質問（変数という）のなかで、どの選択肢に何人が回答したかを集計したものが、単純集計表である（度数分布表ともいう）。下の表は、性別についての単純集計表である。有効回答者のなかに女性が 58.6%いて、男性 41.4%よりやや多いことが分かる。

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 女	109	58.0	58.6	58.6
1 男	77	41.0	41.4	100.0
有効回答計	186	98.9	100.0	
999 無回答	2	1.1		
合計	188	100.0		

5 平均

平均は、変数を1つの数字で代表させて、いわば重心を表す。つぎの式で計算される。値が1と0なら、平均は比率（または割合）とよばれ、%で表せる。全体の平均とともに、男女別、年齢別などグループ別に平均を比較することがある。

$$\text{平均} = \frac{\text{個人1の値} + \text{個人2の値} + \dots}{\text{合計人数}}$$

6 標準偏差

標準偏差は、ある変数の「散らばり」の度合いを1つの数字で表す。つぎの式で計算されて、0以上の値になる。

$$\text{標準偏差} = \sqrt{\frac{(\text{個人1の値} - \text{平均})^2 + (\text{個人2の値} - \text{平均})^2 + \dots}{\text{合計人数} - 1}}$$

7 相関係数

相関係数とは、年齢と家族人数など、2つの質問がどれくらい関連しているのかを、1つの数字で表す。つぎの式で計算されて、-1から1の間となる。

$$\text{相関係数} = \frac{(\text{個人1の変数1の値} - \text{変数1の平均}) \times (\text{個人1の変数2の値} - \text{変数2の平均}) + \dots}{\text{変数1の標準偏差} \times \text{変数2の標準偏差} \times (\text{合計人数} - 1)}$$

もし相関係数が-0.4などマイナスであれば、片方が増えると他方は減ることになる（たとえば年をとるほど家族が減る）。もし相関係数が0.4などプラスであれば、片方が増えると他方も増える（年をとるほど家族が増える）。

相関係数はつぎのような表で表現される（対角線はつねに1であり、右上半分は左下半分と同じとなるので省略してある）。第1行の1は「1 図書館利用」を表す。ここでたとえば、1 図書館利用と2市への愛着の関連をみると、相関係数が0.103となっている。したがって、

図書館をよく利用する人ほど、市に愛着をもっていることが分かる。

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)			
	1	2	3
1 図書館利用			
2 市への愛着	.103		
3 市への満足	.040	.468*	

8 カイ 2 乗値

カイ 2 乗値とは、性別と FC 東京について新聞で記事を読むなど、2 つの質問のクロス表を作成した際に、2 つの変数がどれくらい関連しているのかを、1 つの数字で表す。つぎの式で計算されて、0 から∞の間となる。ここで、セルとは個々の値の具体的な数値が記載されている箱のことを、観測度数とは、実際に調査でえられたケースの数を、期待度数とは変数間に関連がないときに想定されるケースの数を意味している。期待度数は関連がないことから、行パーセントがそれぞれ同じ値になる。

	クロス表 (観測度数)		クロス表 (期待度数)	
	FC 東京について記事を読む	FC 東京について記事を読まない	FC 東京について記事を読む	FC 東京について記事を読まない
男性	39(29.8%)	113(74.3%)	29.8(19.6%)	122.2(80.4%)
女性	23(32.2%)	141(86.0%)	32.2(19.6%)	131.8(80.4%)
合計	62(19.6%)	254(80.4%)	62(19.6%)	254(80.4%)

カイ 2 乗値＝

$$\frac{(\text{セル 1 の観測度数} - \text{セル 1 の期待度数})^2}{\text{セル 1 の期待度数}} + \frac{(\text{セル 2 の観測度数} - \text{セル 2 の期待度数})^2}{\text{セル 2 の期待度数}} + \dots$$

このクロス表では、カイ 2 乗値は 6.770 となる。カイ 2 乗値は、2 つの変数のそれぞれの値の数が同じ場合には、カイ 2 乗値の値が大きいほど 2 変数間の関連が強いことを意味する。また、カイ 2 乗値が 0 の場合には、2 変数には関連がまったくないことを意味する。

9 有意確率

母集団で関連や差がないときに標本で偶然、関連や差が見られる確率のこと。この確率が小さければ、標本でみられる関連や差が偶然ではないと判断する。統計学では一般に、有意確率が 5%未満であれば、母集団でも何らかの関連や差があると考え。たとえば、上の表で 2 市への愛着と 3 市への満足の関連は、相関係数 0.468 で、有意確率 5%未満であった。したがって、市に愛着がある人ほど市に満足しており、そのような傾向は母集団でも見られるといえる。そのような場合、「有意に関連している」などと表現される。

この調査についてC 履修者一覧

担当教員

香川めい（文学部現代社会学科非常勤講師）、渡邊大輔（文学部現代社会学科専任講師）

履修者（文学部現代社会学科 3年生 4年生 31名）

相崎 美帆	瀧野 敦美（班長）
井上 幸洋	瀧野 恵理（班長）
岩佐 実果	田中 美咲
遠藤 直弥	千葉 華澄
大山 真央	直井 絵莉子
岡田 有加	中山 稚菜
賀川 貴彦	野田 里佳
片山 敏志	原田 瑛里
加藤 名津子	穂坂 宏孝（班長）
川合 美斗（班長）	益田 侑希
久米 美智子	松岡 恵李奈（班長）
小林 文音	松野 友飛（班長）
小林 早紀（班長）	宮里 早季
相良 知広	山崎 匠悟
鈴木 絵理	山地 里果
高橋 由衣	

第1章 旅行

——そうだ、旅に出よう——

瀧野敦美（班長）

岩佐実果（入力担当）、賀川貴彦（分析担当）、加藤名津子（発送、調査票担当）

第1節 問題関心

この章では、余暇を海外旅行に費やす人々に焦点をあて、海外旅行が趣味や嗜好品に与える影響についてを調べた。海外旅行では、異文化に触れることができるため、人々の興味関心も広がるのではないかと考えたからである。

海外旅行は1964年4月1日に自由化され、観光目的の渡航が解禁された。これまでは、莫大な渡航費用がかかり、外貨の持ち出しにも制限があったため、お金持ちの人しか海外旅行をすることができないイメージがあった。しかし、現在では、誰もが気軽に海外旅行をすることができるようになった。

一般社団法人日本旅行業協会のデータによると、2012年の海外旅行者数は過去最高の約1,849万人であった。海外旅行が解禁された1964年が約13万人であったが、1970年代に円の固定相場制が見直されると海外旅行者数は急激に増加した。その後も景気の影響による一時的な減少も見られるが、全体的に見れば解禁から約40年で、著しく海外旅行者が増加していることがわかる。そこで私たちは、以下の仮説をたてた。

仮説1：男性ほど、金銭的に余裕があるため、海外旅行経験があるだろう。また、高等教育を受けている人ほど、より専門的な教育を通して、海外の事例などを学び、興味関心を持つため、海外旅行経験があるだろう。

仮説2：海外旅行の経験がある人ほど、洋酒を飲むことを好み、カラオケに年数回以上は行かないだろう。海外旅行に行くという楽しみを知っているため、カラオケに行っても楽しさを感じないので、カラオケにはあまり行かないだろう。

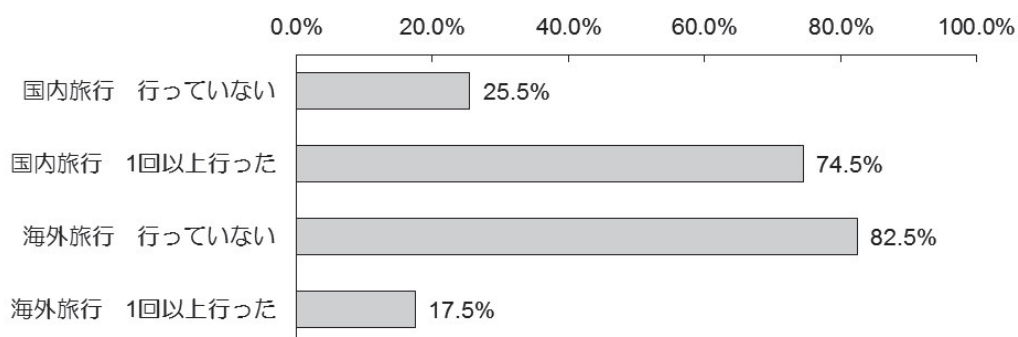


メンバー



インタビュー調査

問6 あなたは過去1年間に国内外旅行や出張（いずれも1泊以上）に何回くらい行きましたか



第2節 集計結果

問6で「あなたは過去1年間に国内外旅行や出張（いずれも1泊以上）に何回くらい行きましたか」と質問した。選択肢は何回くらいという解答欄を用意し数字を記入してもらった。行ってない人には「行ってない」という選択肢を用意した。

単純集計表から、国内旅行に一回以上行っている人は74.5%、行ってない人は25.5%だった。平均値は1.92回、標準偏差は2.273、最大値は20回だった。海外旅行に一回以上行っている人は17.5%、行ってない人は82.5%だった。平均値は0.23回、標準偏差は0.620、最大値は7回だった。

国内旅行については予想通り多くの方が経験していた。最近、海外について取り上げられる機会が増え、海外旅行をする人が増えていると考えていたが、17.5%もの人が1年以内に海外旅行をしている事は私たちの予想より多かった。

第3節 原因の分析

グループ別に、海外旅行の経験がある人を比較した。海外旅行経験者は高等教育以上の学歴を持つ172人のうち22.1%、中等教育以下123人のうち11.4%だった。カイ二乗検定の結果、高等教育以上の教育を受けている人と中等教育以下の人では、高等教育を受けている人のほうが、有意に海外旅行の経験があった（有意確率1.7%）。私たちは高等教育以上を受けている人ほど、高等教育の場で海外や異文化について学ぶ機会が多くあり、興味関心が芽生えるのでないかと予想した。振り返ってみると、大学の授業では第二外国語を学ぶ機会があり、第二外国語を学ぶことによって、英語圏以外のより多くの国の思想や文化に触れる事ができ、実際に海外への関心が高まった。

男女別では、海外旅行経験者は男性120人のうち14.2%、女性170人のうち18.8%に海外旅行経験があり、有意な差はなかった。男性のほうが平均収入が多いと考えたため、海外旅

行に行く傾向があると予想した。しかし海外旅行は金銭面だけではなく時間の問題もあるため、男女で有意な差は見られなかったのではないかと。したがって仮説 1 は部分的に支持された。

第 4 節 結果の分析

海外旅行に経験者と未経験者を、グループに分けて比較した。洋酒を飲んでいる人は海外旅行経験者 52 人のうち 55.8%、未経験者 245 人のうち 27.8%だった。カイ 2 乗検定の結果、海外旅行経験者のほうが、普段から洋酒を飲む人が有意に多かった（有意確率 0.0%）。海外旅行に行く人は、現地のレストランで洋酒を飲むことや、観光で生産地を訪れる機会があるので洋酒を普段から好むようになるのではないだろうか。実際、教員渡邊はアイルランドに行った際、スタウトビールの美味しさの虜になった。

またカラオケに年数回以上行く人は海外旅行経験者 52 人のうち 23.1%、未経験者 244 人のうち 37.7%だった。海外旅行経験者のほうが「普段、年数回以上カラオケに行く機会」が有意に少なかった（有意確率 4.5%）。海外旅行に行きたいと考える人はお金がかかるために節約志向になりカラオケに行かなくなるのではないかと。実際、岩佐は来年の夏にヨーロッパを旅行したいと考えているため、その他の娯楽への支出を控えるように努力している。したがって仮説 2 は支持された。

第 5 節 フィールド調査

2013 年 5 月、岩佐と賀川と加藤がワタルツーリストに行った。ワタルツーリストは、吉祥寺にある個人経営の旅行代理店である。経営者の野坂亨さんにお話を伺ったところ、昔と今とでは旅行の形態が変化しているということであった。かつては社員旅行などの団体旅行が主流であったが、現在では家族や友人同士などの個人旅行がメインになっているとのことだった。また交通網の発達により行先も以前に比べて多彩になったそうだ。旅行の姿は時代によって、また会社や家族の形態によって変化するということが分かった。

第 6 節 インタビュー調査

岩佐と賀川が 2013 年 12 月に成蹊大学文学部国際文化学科の A 先生にインタビューを実施した。先生の研究室にて快くインタビューを引き受けてくれた。

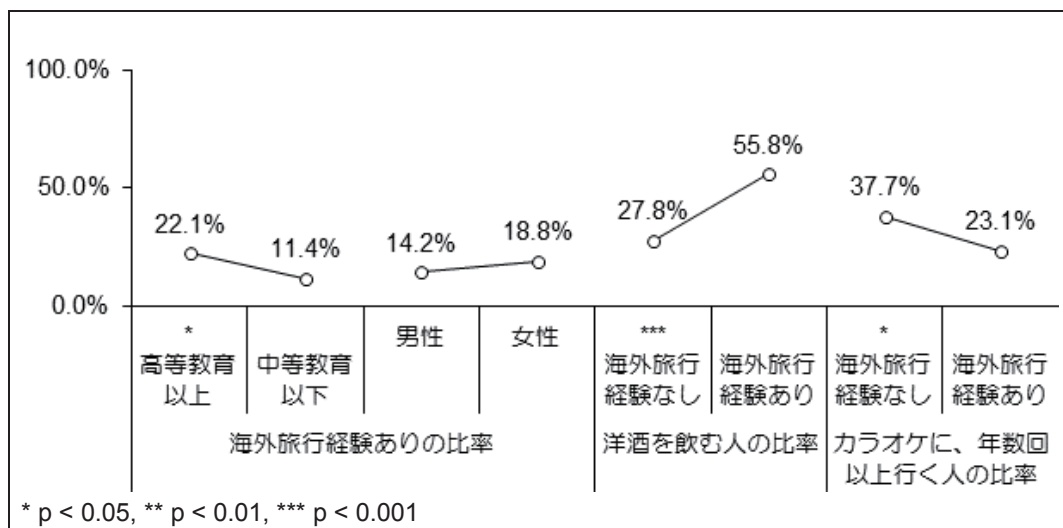
賀川「学歴が高いと海外旅行に行くという結果が出ていますがどう思いますか」

A 先生「学歴が上がるにつれ、身の回りの地域からより広い世界について学ぶことによって海外に興味や関心を得るのではないのでしょうか」

岩佐「先生はどちらの国によく行かれますか」

A 先生「ヨーロッパです。特にドイツが多いですかね。あとアメリカです」

賀川「海外旅行に行く人と洋酒を好むようになるという事についてはどうでしょうか」



A 先生「ヨーロッパの人々は気軽に洋酒を飲むので、現地に行くときよくお酒を飲みますね」

賀川「ちなみに先生は洋酒がお好きですか」

A 先生「そうですね。主観ですがヨーロッパに行くとき酔いにくいと思います。また、せっかくの旅行なので現地の洋酒を飲む事によって洋酒に対してのポジティブな経験ができ、結果日本でも洋酒を飲むのではないのでしょうか」

岩佐「近年海外旅行者数が増加していますが、どのような要因があると思いますか」

A 先生「子供のころから修学旅行、家族旅行で海外旅行に行く経験を持っている人が増えて、海外旅行の心理的ハードルが低くなったのも要因ではないのでしょうか。また、定年退職された方々が時間的、金銭的に余裕が生まれ、海外旅行に行くのではないのでしょうか」

国際文化学科の先生ということもあり、海外旅行経験が豊富な方であった。実際に海外旅行に行き洋酒に対する良い経験をする事により、洋酒が好きになる経験を聞くことができた。

また海外旅行者数の増加に子供の頃の経験が関わっているという視点は新しく、今後検討してみたいと思った。先生の話を受けているうちに自分たちも海外旅行に行ってみたくなった。

第7節 感想

旅行は、余暇の過ごし方の中でも日常から大きく離れるビックイベントであるため、とても興味深いテーマだと思った。海外旅行に行く人はカラオケには行かないということは意外だった。苦労した点は海外旅行と洋酒というテーマに絞ってしまったため、インタビュー先が限られてしまったことだった。

LCCの登場や交通網の発達が進み、海外旅行に簡単に行けるようになった。また最近では以前に比べ東南アジア等の新興国への旅行も気軽に行けるようになり、より海外旅行者が増加し、そして海外旅行の多様化が進むのではないだろうか。

第2章 カラオケ

——うたをうたおう♪——

川合美斗（班長）、
大山真央（発送担当）、片山敏志（調査票、入力担当）、高橋由衣（分析担当）

第1節 問題関心

この章では、カラオケが人びとの現在の生活にどのような影響を与えているのかを調べた。カラオケは幅広い世代に親しまれ、私たちの生活に深く関わっていると予想できるからだ。

カラオケ機器の発明者は音楽関連の会社を設立した井上大祐といわれている。井上は1960年代に登場した再生装置を利用して100円で5分間音楽が流れ、マイクで歌えるように設定した。これが、カラオケの原型となった機器とされている。また、昭和30年代前後の労働者の間で接待や交際的手段として伴奏に合わせて歌う「小唄」や「民謡」がブームとなり、後年にカラオケの土台となった。1970年代にはカラオケという新しいレジャーが日本社会に定着し、1996年にはカラオケルーム数は160,680室にまで増加した。その後、2001年には135,000室までに減少し、2012年までほぼ横ばいで推移している。そこで私たちは、以下の仮説をたてた。

仮説1：男性ほど、仕事のつきあいなどの機会が多いため、カラオケに行くだろう。若い人ほど、時間があるので、カラオケに行くだろう。

仮説2：カラオケに行く人ほど、歌の練習をするため、入浴時に歌を歌うだろう。また、歌うことで発散するため、ストレスがないだろう。

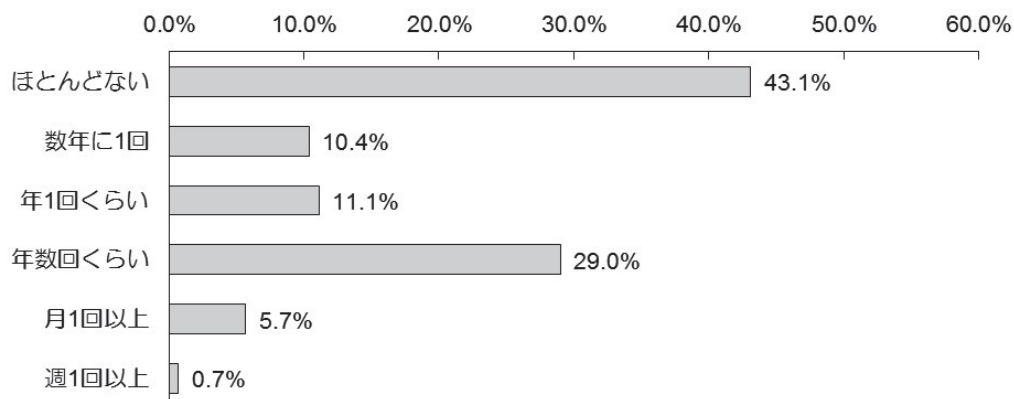


メンバー



インタビュー調査

問 8 ア) あなたはこの5年間でカラオケ（スナックや自宅含む）をどれくらいしましたか



第2節 集計結果

問 8 で「あなたはこの5年間で以下のことをどれくらいしましたか」と質問し、過去5年間にどのくらいカラオケをしたのかを調べた。選択肢は、「週1回以上」「月1回以上」「年数回くらい」「年1回くらい」「数年に1回」「ほとんどない」であった。

単純集計表から、ほとんどない人がもっとも多く 43.1%いた。続いて、年数回くらいが 29.0%だった。月1回以上行く人は 5.7%で週1回以上行く人は 0.7%と最も低かった。

カラオケにほとんど行かない人は思いのほか多かった。川合はカラオケに少なくとも月1回以上行くが、そこでは学生と思われる人が多くいる。この調査満22歳以上の人が対象となっているため社会人が多く、調査対象者はカラオケにほとんど行かないのだろう。

第3節 原因の分析

グループ別に、カラオケに行く人を比較した。30代以下 103人のうち 74.8%、40代以上 192人のうち 47.4%がカラオケに行っている。カイ二乗検定の結果、年齢別では若い人が有意にカラオケに行っている（有意確率 0.0%）。カラオケは長時間遊べるため、時間、体力のある若い人のほうがよく利用するのだろう。年齢が上がるにつれ大人数で集まって遊びに行く機会も少なくなり、家庭を持つ人も多く、遅くまで遊ばないことも関係していると思われる。

男女別では、男性 121人のうち 62.0%、女性 169人のうち 54.4%がカラオケに行っていた。しかし、その差は有意でなかった（有意確率 20.0%）。男性のほうが接待や仕事のつきあいではカラオケに行く機会が多いため、女性よりもカラオケに行くこと予想したが、有意な男女差はみられなかった。仕事のつきあいだけでなく、家族や友人と交流するためにもカラオケに行くのだろう。したがって、仮説 1 は部分的に支持された。

第4節 結果の分析

カラオケに行く人とそうでない人を、グループに分けて比較した。入浴時に歌を歌う人は、カラオケに行く人 168 人のうち 20.2%、そうでない人 128 人のうち 6.3%だった。カイニ乗検定の結果、カラオケに行く人ほど入浴時に歌を歌っている（有意確率 0.1%）。入浴時に歌を歌う人は、入浴時の暇な時間にカラオケの練習するため、入浴時に歌を歌うのだろう。

心理的ストレス得点の平均は、カラオケに行く人が 5.3 点、そうでない人が 4.7 点だった。t 検定の結果、カラオケに行く人と行かない人の間には、ストレスについて有意な違いがあるとはいえなかった（有意確率 25.4%）。カラオケに行ってもストレスが解消されるわけではないだろう。

第5節 フィールド調査

2013 年 11 月 28 日、大山と川合が吉祥寺にあるカラオケ館でフィールド調査を行った。14:30~15:30 の間で来ている客層、人数、利用時間を調査した。平日の昼間にあたるこの時間は一人か二人での利用が多く、また 20 代~30 代の学生ではない社会人がほとんどであった。一人利用では 50 代の人が多かった。二人利用では、男女での利用が多かった。利用時間は 2 時間で利用する人が多いようだった。

第6節 インタビュー調査

2013 年 11 月に西東京市田無駅にある「モコモコ」というカラオケ店に行き、女性の店長さんにインタビューを実施した。カラオケ店の一室にて和やかな雰囲気で行われた。

片山「このお店の利用される方の年齢層はどのくらいの方が多いですか」

店長「家族連れを含めれば、0 歳から 80 代くらいまでいます」

大山「時間帯による差とあってありますか」

店長「ありますね。朝、午前中に関してはご年配方の 50 代とか上の世代の方の一人利用が多いです。午前中から夕方 6 時くらいまでは学生の利用が多いです。夕方 6 時から子ども入れる 10 時くらいまでは家族連れの利用が多くて。深夜帯に関しては仕事帰りの社会人とか、大学生が多いですね」

片山「性別による違いはありますか」

店長「半々です。どっちが多いとかはないですね」

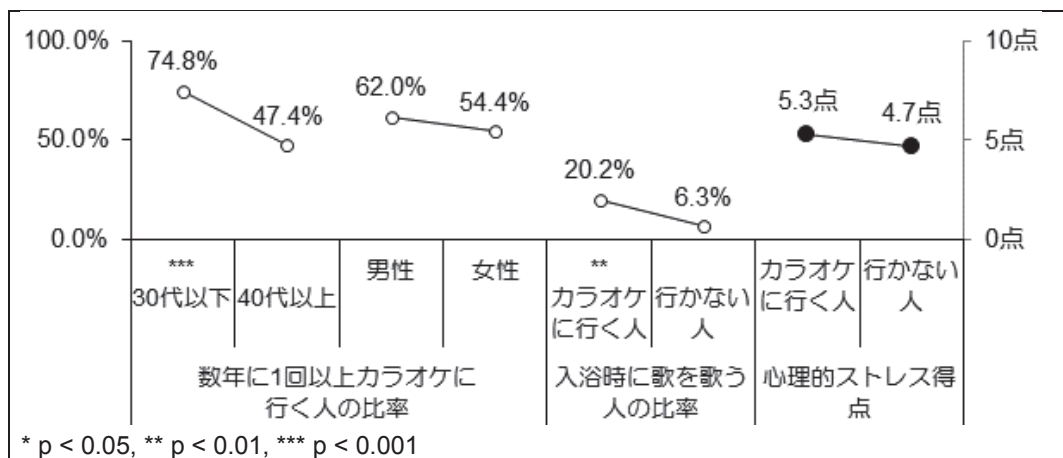
片山「利用人数はどうですか」

店長「平日か週末かで全然違いますね。平日に関しては 4~5 名くらいです。金曜土曜だと会社終わりの 10 数名の団体が多いです」

大山「どのくらいの時間利用される方が多いですか」

店長「平均して 2~3 時間くらいですね」

統計的に男女差はみられず、インタビュー調査でも男女差はみられなかった。また、利用者



の年代によって利用時間帯が大きく異なっており、その差ははっきりと出ていたことに驚いた。インタビューをしたことによって、実際の利用状況を知ることができた。

第7節 感想

カラオケはどここの街にもあり、短い時間でも気軽に利用でき、料金も安い。カラオケは私たちにとって身近な娯楽であるので、親しみやすいテーマだった。苦労した点は、仮説を立てる際に学生ではなく社会人の立場から考えるのが難しかったことである。

今回の調査を通して、カラオケは学生だけでなく子供から老人まで幅広い年代の人に愛されていることがわかった。家族連れや友達どうし、同僚、一人、など様々な場面で利用されており、みんな歌を歌うことを楽しんでいる。これからも身近な娯楽として私たちの生活に関わりつづけていこう。

参考文献

鍛冶博之,2011,「カラオケ」同志社大学人文科学研究所『日本生まれのランドマーク商品たち』(人文研)

第3章 映画

——映画館のない街——

松野友飛（班長）

相良知広（分析担当）、鈴木絵理（入力担当）、野田里佳（発送担当）、宮里早季（調査票担当）

第1節 問題関心

この章では、西東京市民が映画とどのように関わっているかを調べた。その理由は市内には映画館がないからだ。そのため大きなスクリーンで映画を見るためには市外の映画館もしくは西東京シネマ倶楽部などが催すイベントを通じて見ることになる。

西東京シネマ倶楽部は、1998年11月、旧保谷市に保谷シネマクラブとして設立され、保谷庁舎こもれびホールを会場として市民に映画に触れる機会を増やした。奇数月に行われる市民名画座をはじめ、2001年からは自主制作映画コンペティションを開催し、今年で第12回を迎える。

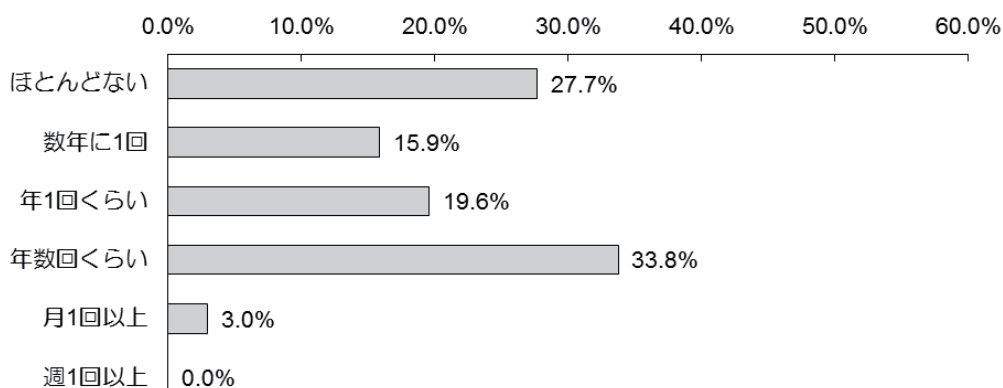
最近では市民名画座には600人余りの人が来場するようになり、自主映画コンペティションには第10回で最大応募数180作品、第12回は140作もの応募があった。西東京市では今後も映画を見る文化が発展していきそうだ。そこで私たちは、以下の仮説をたてた。

仮説1：女性ほど、レディースデーなどで料金が安くなるため、映画館に行く機会が多いだろう。未婚の人ほど、自分のために費やせる時間とお金があるため、映画館に行く機会が多いだろう。

仮説2：映画館に年数回以上行く人ほど、映画の情報に敏感なため、こもれびホールで開催されるイベントについて知っており、映画の感動を実際に味わいたいため、国内旅行に行くだろう。



問 8 ウ) あなたは、この五年間で映画館で映画を見ることをどれくらいしましたか (○は1つ)



第 2 節 集計結果

問 8 で「あなたは、この五年間で以下の事をどれくらいしましたか(○はそれぞれひとつ)」ウ「映画館で映画を見る」と質問した。選択肢は、「週 1 回以上」「月 1 回以上」「年数回くらい」「年 1 回くらい」「数年に 1 回」「ほとんどない」であった。

単純集計表から、年数回くらい見る人がもっとも多く 33.8%いた。続いて、ほとんどないという人が 27.7%、年に 1 回くらい見る人が 19.6%だった。いっぽう、月 1 回以上みる人は 3.0%にとどまった。なお、週 1 回以上見る人はいなかった。

映画館がない西東京市民は映画に触れる機会は少ないだろうと予想したが、結果はそうでもなかった。松野は年数回映画館に映画を見に行くが、ほとんどないと答えた人が約 3 割だったことは意外だった。

第 3 節 原因の分析

グループ別に年数回以上映画館に行く人を比較した。年数回以上映画館に行くのは男性 120 人のうち 30.0%、女性 169 人のうち 41.4%だった。カイニ乗検定の結果、男女別では、女性のほうが有意に年数回以上映画館に行っていた。(有意確率 2.6%)。私たちは、レディースデーなどの割引を利用して映画に行く機会が女性のほうが多いのではないかと予想した。考えてみると、レディースデーは身近な割引だが、男性のための割引制度はそれに比べてごく少数だと思う。松野も実際メンズデーなどの割引を利用したことはない。

婚姻状況別では、既婚者 215 人のうち 35.8%、未婚者 80 人のうち 40.0%が年数回映画を見ていた。ただし結婚しているか否かで映画を見に行く頻度に統計的には違いは見られなかった(有意確率 50.8%)。したがって、仮説 1 は部分的に支持された。未婚者のほうがお金と時間に余裕があるため、気軽に映画館に行けるだろうと予想していたが、実際には婚姻状況別では思うような結果は得られなかった。

第4節 結果の分析

年数回以上映画館に行く人とそうでない人をグループに分けて比較した。国内旅行に行く人は、映画館に年数回以上行く人 108 人のうち 83.3%、そうでない人 180 人のうち 68.9%だった。カイ二乗検定の結果、年数回以上映画館に行く人ほど有意に国内旅行に行っていた。（有意確率 1.6%）映画館に年数回以上行く人は、映画の舞台にも関心を持つことが多く、そのロケ地や舞台にも足を運んでみたいと考える人も多いのではないだろうか。実際に、鈴木の友人も埼玉県秩父市が舞台になっている某映画を見て、秩父に旅行へいったことがある。

こもれびホールの映画上映について、「見たい映画であれば行く」人は、年数回以上映画館に行く人 109 人のうち 15.6%、そうでない人 187 人のうち 5.3%だった。いっぽう上映していることを「知らない」人は、年数回以上映画館に行く 109 人のうち 39.4%、そうでない 187 人のうち 46.0%だった（有意確率 1.2%）。

西東京シネマ倶楽部が発行している情報誌「シネマホットライン」では、こもれびホールでのイベント情報が掲載されており、映画好きの市民なら目にするだろう。このことから、映画館によく行く人ほどこもれびホールで映画を上映していることを知っていると考えられる。したがって、仮説 2 は支持された。

第5節 フィールド調査

2013 年 5 月、松野と宮里が西東京市にある保谷こもれびホールでフィールド調査をした。こもれびホールでは、西東京シネマ倶楽部が 2 か月に 1 度開催する市民名画座というイベントがある。このイベントは部員が厳選した様々なジャンルの映画を市民に楽しんでもらうことが目的だ。今回見た映画は園子温監督の「希望の国」という映画で、来場者の数はおおよそ 400 人余りだった。年齢層は 50、60 代の年配の方が多く、男女比は 4 : 6 であった。また、映画を見た市民の感想を西東京シネマ倶楽部がインタビューをしており、その時の雰囲気は和やかであった。

第6節 インタビュー調査

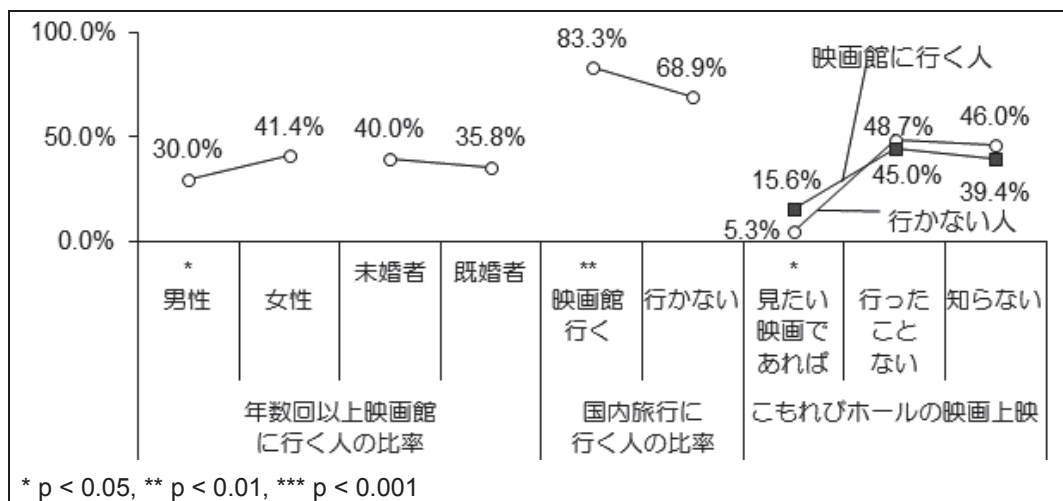
2013 年 11 月西東京シネマクラブを運営している（有）オーロラ印刷の Y さん（60 代男性）にインタビューを行った。オーロラ印刷の事務所にて、終始和やかな雰囲気で行われた。

松野「市民名画座を開催したきっかけ、目的は何でしたか」

Y さん「西東京市には映画館がないため、子育て中のお母さんやご年配の方など交通弱者の人が映画館に気軽に行けることを目的に 15 年前に始めました。現在までで 156 本上映しました」

松野「来場者はこういった反応ですか」

Y さん「1 日に 3 回上映し、2000 人の市民の方が来てくれたこともありました。こもれびホールで上映しているというだけで来場してくださる方がいるのは嬉しいですね。地元で感



動できる場所を提供するのがコンセプトなので、そういった市民のためにも上映する映画は厳選しています」

松野「自主映画コンペティションはなぜ始めたのですか」

Yさん「若い人たちへ発表の場を与えたいと思い、12年前に始めました。世界的映画祭はどうしても知っているだけ、見ているだけになってしまう。地元でやっていたら、参加、運営、同時体験ができる。これが1番の醍醐味だと思っています」

3年前から商店街の人たちが協力して映画祭をPRしてくれていて、商店街へ来た人を映画祭へ誘致したり、映画祭へ来た人が商店街を利用したりといった、地域活性化にも役立っていてうれしいですとYさんは話していた。

第7節 感想

私たちにとって映画館は身近なものであるためどの街にもあるものだと思っていたが、西東京市には映画館が1つもないことに驚いた。

苦労した点は、結果を分析するにあたってその理由を考える作業では色々と想像しなければいけなかったことである。

インタビュー調査などを通して、こもれびホールでの映画祭や2か月に1回の映画上映を主催している団体の熱意が伝わったので、多くの人にこもれびホールで映画を楽しんでほしいと感じた。

第4章 お酒

——お酒があなたを救う——

松岡恵李奈（班長）

小林文音（調査担当）、田中美咲（分析担当）、中山稚菜（発送担当）、山崎匠悟（入力担当）

第1節 問題関心

この章では、人々がふだん飲む酒の種類と、その購入場所との関係についてを調べた。酒は多くの人びとに愛されているので、人々の暮らしにふかく関わっていると予想できるからだ。

わが国固有の日本酒は、8世紀頃（奈良時代）に製造方法が確立されていた。しかし、当時は庶民が自由に飲めるものではなく、祭礼・正月・慶事などの際に飲むものだった。一方、ワインが16世紀中ごろ、ビールが18世紀初めごろ、ウイスキーが19世紀中ごろに日本に伝わって来たとされている。

日本における酒税法では、一定のアルコール濃度を持った飲料に関しては酒税を設けており、基本的にはアルコール含有率が高いほど酒税も高くなる。そこで、その酒税を抑えたいというメーカー側の意向によって発泡酒が作られた。発泡酒が初めて誕生したのは昭和20年代であったと言われている。その後、平成元年以来のビールの低価格競争が主な要因となり、平成6年にサントリーが発泡酒として『HOPS』を発売したことにより、世間に普及してきた。また、時代と共にお酒の種類も増え、購入場所も酒屋だけではなく、スーパー、コンビニ、ドラッグストアと多様化してきた。そこで私たちは、以下の仮説をたてた。

仮説1：30代以下の人ほど、独身が多く手軽にすませたいのでコンビニでお弁当を購入し、一緒にお酒を買おう。フルタイムで働くほど、帰宅時間が遅く他にお店があいていないので、コンビニでお酒を買おう。

仮説2：コンビニでお酒を購入する人ほど、ビールより値段が安いので発泡酒を飲み、他

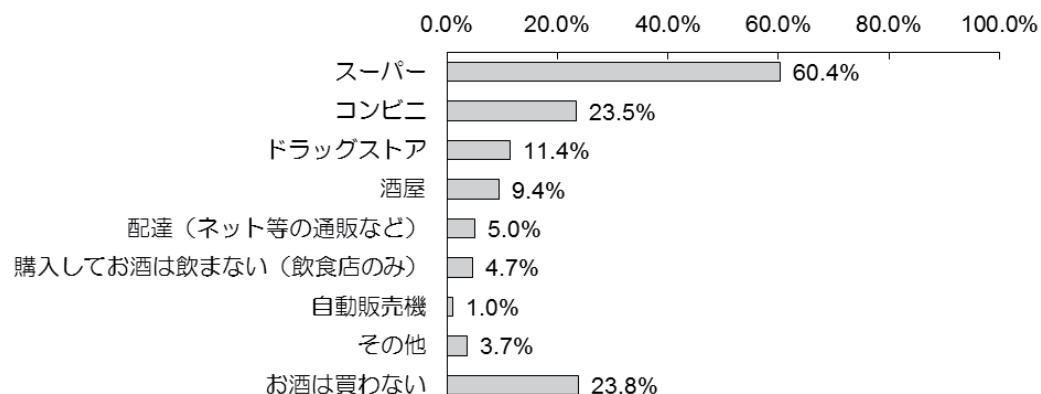


メンバー



インタビュー調査

問 14 ふだん、あなたはお酒をどこで購入しますか（〇はいくつでも）



のお酒に比べ値段が高いためワインは飲まないだろう。

第 2 節 集計結果

問 14 で「ふだん、あなたはお酒をどこで購入しますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は、「酒屋」「コンビニ」「スーパー」「ドラッグストア」「配達（ネット等の通販など）」「自動販売機」「購入してお酒は飲まない（飲食店のみ）」「その他（ ）」「お酒は買わない」であった。

単純集計表から、スーパーで購入するという人がもっとも多く 60.4%いた。続いて、お酒は買わないという人 23.8%だった。また、コンビニで購入するという人も 23.5%いた。一方、酒屋で購入するという人は 9.4%にとどまった。

スーパーで購入するという人は、予想通り多かった。田中は日頃お酒を購入する際に、スーパーもコンビニも同じくらいの頻度で利用するため、コンビニで購入するという人よりスーパーで購入するという人の方が圧倒的に多かったのは意外だった。

第 3 節 原因の分析

年代別に、コンビニでお酒を購入する人を比較した。コンビニでお酒を購入するのは、30代以下の 103 人のうち 35.0%、40代以上の 193 人のうち 17.1%だった。カイ二乗検定の結果、年代別では、30代以下のほうが有意にコンビニでお酒を購入している（有意確率 1.0%）。私たちは、30代以下ほど夕食として、コンビニでお弁当を購入し、そのついでにお酒を購入すると予想した。振り返ってみると、中山は夕飯を自炊するのがめんどろな時、コンビニでお弁当を購入しその際にチューハイを購入することがあった。また小林は、友達の家で飲む時にお菓子とともにお酒をコンビニで購入することが多々ある。

フルタイムで仕事をしているかしていないかでは、フルタイムで仕事をしている 156 人の

うち 28.2%、フルタイムで仕事をしていない 142 人のうち 18.3%がコンビニでお酒を購入する。フルタイムで仕事をしている人が有意にコンビニでお酒を購入する（有意確率 4.4%）。フルタイムで仕事をしている人は、帰宅時間が遅く、スーパーでお酒を購入したくても閉まっていることの方が多いため、コンビニでお酒を購入すると思われる。実際、自宅付近のスーパーの閉店時間が 21 時のために、フルタイムで仕事をしている小林の姉は仕事のストレスを発散するために、帰宅する際にコンビニでお酒を購入する。したがって、仮説 1 は支持された。

第 4 節 結果の分析

コンビニでお酒を購入する人とそうでない人を、グループにわけて比較した。コンビニでお酒を購入する人 66 人のうち発泡酒を飲む人は、50.0%、そうでない人 155 人のうち 32.3% だった。カイニ乗検定の結果、コンビニでお酒を購入する人ほど、有意に発泡酒を飲んでいった（有意確率 1.3%）。コンビニでお酒を買う人は次の飲み会のために節約したいので、ビールに近く、安い発泡酒を飲むのだろう。実際、山崎はバイト終わりに、疲れを癒すためにコンビニで発泡酒を購入する。

ワインを飲む人は、コンビニでお酒を購入する 66 人のうち 40.9%、そうでない 155 人のうち 40.6% だった。コンビニでお酒を購入する人もそうでない人も、おなじくらいワインを飲む（有意確率 97.1%）。ワインは値段が安いものから高いものまであり、色んな人に親しまれ飲まれるお酒なのだろう。実際、山崎のサークルやゼミの飲み会では、近くにあるコンビニでビールやサワーを大量に買うついでにワインを購入するが、特別な日の飲み会では、少し高級なワインを酒屋や専門店で購入する。したがって仮説 2 は部分的に支持された。

第 5 節 フィールド調査

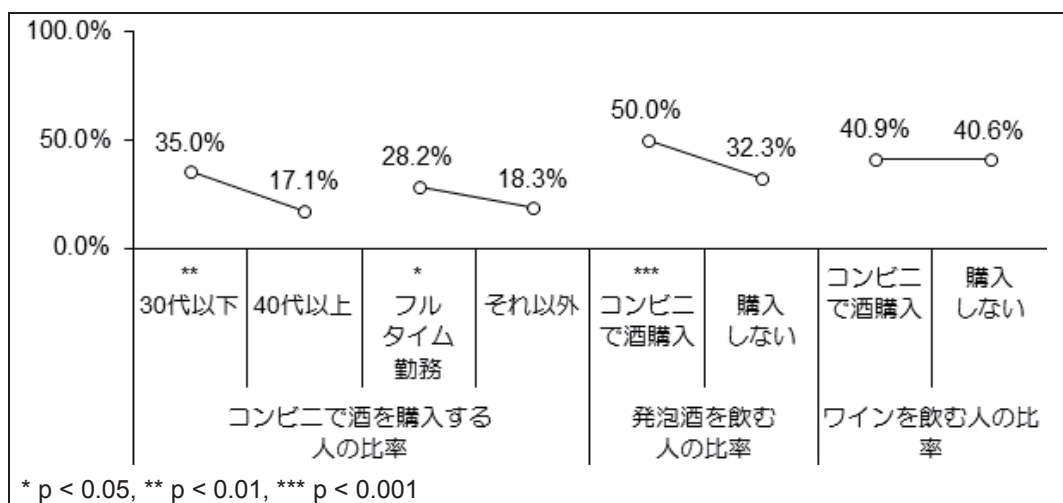
山崎と小林が 2013 年 5 月、西東京市の酒屋「米山酒店」へ行った。米山酒店は、KLC プチショップの加盟店の 1 つとして展開している。チェーンで大量仕入れ、大量販売をしており、良い品を毎日安く売ることがをモットーに営業している酒屋である。米山酒店は家族で経営をしており、アットホームな雰囲気であった。クリスマスはワイン、お盆とお正月は日本酒、瓶ビールと、仕入れの工夫を凝らしており、50 年間地域に愛されているお店である。

第 6 節 インタビュー調査

松岡が 2013 年 11 月、吉祥寺のコンビニエンスストア「ローソン」に行き、店長さんにインタビューを実施した。女性の方で、店内の酒売り場にて 10 分程度行った。

松岡「お酒を購入する人の年齢層はどのくらいですか」

店長さん「20～90 代と、幅広い世代の方がいらっしゃいますね。特に中高年のお客様が多いです」



松岡「男女差に違いはありますか」

店長さん「5:5くらいですかね。女性の方も多いです。特に最近では、会社帰りの女性がプチ贅沢としてご褒美アルコール、特にカクテルを購入されることも多いです。以前はご褒美デザートが人気でしたが、最近ではお酒へと変化してきています」

松岡「全体ではどんな酒の種類が売れるのですか」

店長さん「発泡酒や第三のビールブームは去りましたね。最近では白ワインが人気です。赤はあまり売れませんが。実は、スーパーで買うよりコンビニで買った方が安いワインもあるんですよ。また、以前のチューハイ人気は、ハイボール人気に変化しています」

男性の購入客の方が圧倒的に多いと思っていたが、男女差に差がないことが意外だった。また、成蹊大生の酒購入者はそこまで多いわけではなく、近所に住む人の利用が多いそうだ。

第7節 感想

お酒というテーマは、学生の私たちにとって身近なテーマだったと思う。調査対象が学生より年上の世代だったため、社会人の生活リズムを想像しながら仮説をたてたり調査を進めたりした。

苦労点は、インタビュー調査で、インタビューを受けてくれるコンビニがなかなか見つからなかったことである。駅近くの店舗はやはり一日中忙しいようで、コンビニ利用者の多さを改めて感じた。幸い、大学近くのコンビニの店長さんが快くインタビューを受けてくれたので調査を続けられることが出来たが、数か所で調査を行えたら、店舗によって売れる商品の違いなどが見られたかもしれない。

今後、発泡酒や第三のビール次ぐ新たなお酒が誕生することによって、飲み会でのコミュニケーションの機会が増えたり、新たな繋がりが生まれやすくなるのかと思うと楽しみである。

第5章 睡眠

——人生の三分の一は布団の中——

小林早紀（班長）

遠藤直弥（入力担当）、岡田有加（発送、調査票担当）、久米美智子（分析担当）

第1節 問題関心

この章では、人びとが睡眠に関してどういった悩みを抱えているかを調べた。睡眠は人びとが生きていく上でなくてはならない存在であるので、暮らしの中で重要な役割を担っていると考えるからだ。

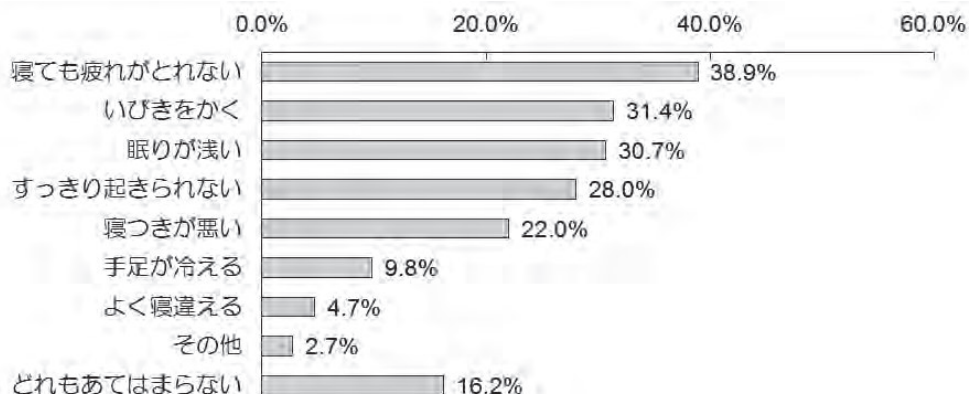
平成23年の『社会生活基本調査』によると睡眠時間は、平均睡眠時間は平成8年に7時間45分で、平成18年には7時間42分に減少している。平成23年も5年前と同じ数値を示しているため、睡眠時間は減少傾向にある。睡眠をとることは①脳を休めるため、②体を休めるため、③自律神経を休めるため、④細胞を新しくするために、人間には必要不可欠なものである。厚生労働省による平成23年度『国民健康・栄養調査』によると、眠れないことを感じたことのある割合は、頻繁にある、ときどきあるを合わせると、男性が50.9%、女性が56.0%である。このように国民の半数以上が眠れないことがあり、睡眠に関して悩みを抱えている。そのため現在、オーダーメイド枕などの高機能な睡眠グッズや睡眠環境も整備され、ただ眠るだけが睡眠ではなくなっている。それは人々が睡眠に関心を持ち、それに伴い睡眠に関する悩みが増えているからではないか。そこで私たちは、以下の仮説をたてた。

仮説1：女性ほど、身体が冷えやすいので、寝つきが悪いだろう。フルタイムの仕事をしている人ほど、仕事でストレスが溜まりやすいので、寝つきが悪いだろう。

仮説2：寝つきが悪い人ほど、眠りやすくなるため、眠る前にお酒を飲むだろう。また寝つきが悪い人ほど、眠りにつきやすくなるために、入浴時に半身浴するだろう。



問 12 眠ることについて、あなたには以下のことがあてはまりますか（〇はいくつでも）



第 2 節 集計結果

問 12 で「眠ることについて、あなたには以下のことがあてはまりますか(〇はいくつでも)」と質問した。選択肢は、「寝つきが悪い」「すっきり起きられない」「いびきをかく」「寝ても疲れがとれない」「眠りが浅い」「手足が冷える」「よく寝違える」「その他」「どれも当てはまらない」であった。

単純集計表から、寝ても疲れがとれないという人がもっとも多く 38.9%いた。続いて、いびきをかくが 31.4%であり、眠りが浅いが 30.7%であった。すっきり起きられないという人は 28.0%で、寝つきが悪い人は 22.0%であった。また、手足が冷える人は 9.8%、よく寝違えるは 4.7%でこのような悩みは少なかった。

寝ても疲れが取れない人やいびきをかく人は、睡眠の悩みでポピュラーなものなので予想通り多かった。小林は寝違えることが多いので、よく寝違える人が少なかったことは意外だった。

第 3 節 原因の分析

グループ別に、寝つきが悪い人を比較した。寝つきが悪いのは、男性 120 人のうち 15.0%、女性 169 人のうち 27.2%だった。カイ二乗検定の結果、男女別では、女性のほうが有意に寝つきが悪かった（有意確率 1.4%）。私たちは、女性ほど、身体が冷えやすいので、寝つきが悪いのではと予想した。岡田は普段から冷え性でお風呂から上がっても、すぐに手足が冷えて、布団に入っても体が温くなるまで時間がかかり、なかなか寝付けない時がある。

フルタイム勤務の人 155 人のうち 13.5%。それ以外の人 141 人のうち 31.2%が寝つきが悪かった。フルタイム勤務か否かでは、フルタイム勤務ではない人が寝つきが悪かった（有意確率 0.0%）。フルタイム勤務の人は、仕事でストレスが溜まりやすいので寝つきが悪いと予想したが、実際の結果は逆であった。フルタイム勤務の人は、生活サイクルが一定だから、

寝つきがよいのだろう。それ以外の人は、フルタイム勤務の人と比べて、自分の時間が多く、自分で自由に時間を設定できるため、生活のリズムが定まっていない。よって寝つきが悪いのであろう。実際、遠藤は休日は昼寝をしてしまうので、夜寝つきが悪くなることが多い。したがって、仮説1は部分的に支持された。

第4節 結果の分析

寝つきが悪い人とそうでない人をグループに分けて比較した。眠るためにお酒を飲む人は、寝つきが悪い人65人のうち3.1%、そうでない人230人のうち11.7%だった。カイニ乗検定の結果、寝つきが悪い人ほど、眠るためにお酒を飲まない(有意確率3.8%)。私たちはお酒を飲むと寝つきが良くなると予想していたが、実際の結果は逆であった。オムロンのねむりラボの記事によると、お酒を飲むと睡眠に悪影響があるという。眠りに悩みを抱えている人は、眠り酒を試してみたが、実際には効果が実感出来なかったため、寝る前にお酒を飲まないようにしているのかもしれない。

半身浴をする人は、寝つきが悪い人65人のうち12.3%、そうでない人230人のうち13.9%だった。寝つきが悪い人も、そうでない人も半身浴をするのに差が出ない(有意確率73.9%)。睡眠のために半身浴をするのではなく、美容のためにする人が多いのであろう。したがって、仮説2は支持されなかった。

第5節 フィールド調査

2013年6月、班員全員で吉祥寺のオーダーメイドの枕など数多くの枕を販売している枕専門店であるまくらステーションにフィールド調査に行った。中道通りの商店街にあるお店で、気軽に入りやすい雰囲気であった。テレビ番組で取り上げられることもあり、店内にはお客さんが多くいた。客層は若い女性が多く、枕を試す人も見られた。小林は、枕を使用しないので枕の悩みのためお店を多く訪れる人がいることに驚いた。

第6節 インタビュー調査

2013年11月、武蔵野市吉祥寺の東急百貨店内にある寝具コーナーのスリープアドバイザーであるIさんに話を伺った。

岡田「スリープアドバイザーとはどのような資格ですか」

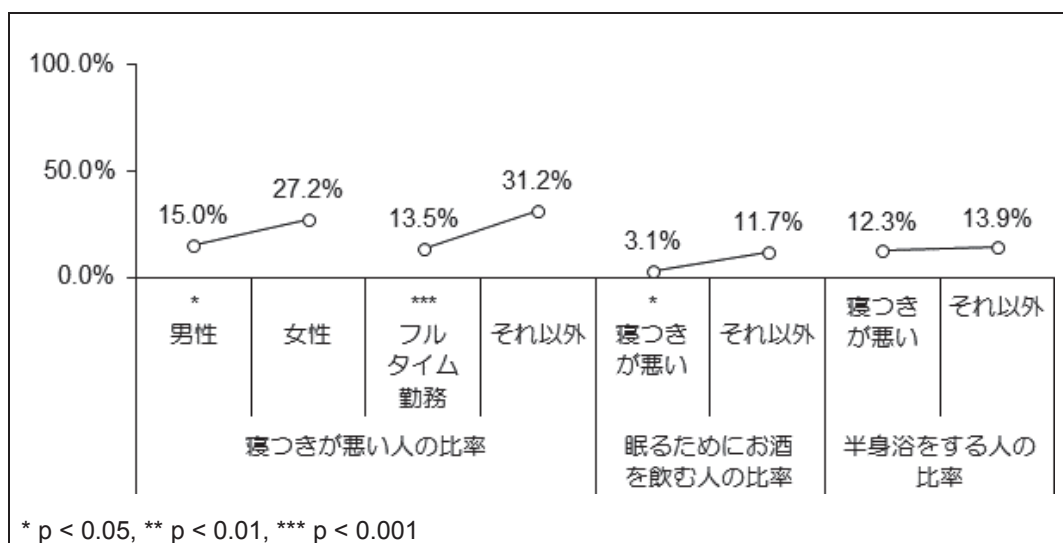
Iさん「お客様の寝具に関する悩みに関してアドバイスをする資格ですね」

岡田「それはどのような悩みで来る方が多いですか」

Iさん「特定の睡眠に関する悩みを持ってくる人は少ないですかね。どちらかという、季節の変わり目に寝具を買い替えるためにいらっしゃるお客様が多いですね」

岡田「少ない中でも悩みがあったりしますか」

Iさん「首や肩が凝ったり、寝つきが悪いとかは相談されたりしますね。そういう方には枕や



マットの買い替えをおすすめすることしか出来ないんですよ」
 岡田「それで寝具を買い替えて悩みは解決しますか」
 Iさん「良くなると仰って頂ける方もいますが、悩みを根本的に解決することは出来ませんが、寝具で解決出来る範囲なら良いものを提供するようにしています」
 冬前の買い替えの時期ということもあり、多くのお客さんが来店していた。ご年配の女性が多く見られた。また、話によると若い人が増えているということに驚いた。睡眠の悩みを寝具店に相談する人が少ないという話を聞いて、意外に感じた。

第7節 感想

睡眠は私たちが生きていく中で必要不可欠なものであり、一生付き合っていく問題である。フィールドワークやインタビュー調査によって、今まで考えてこなかった悩みの解決の方法などを気づくことができた。

調査の結果、今まで私たちが眠るための行為として当たり前だと思っていたお酒を飲むことや半身浴をすることと、睡眠に関する悩みは関係ないということが分かった。睡眠に関して悩みの深刻さに差はあるけど、大半の人が何かしら悩みに感じていることも分かった。

人生の三分の一は睡眠である。これからも睡眠の質を高めつつ、付き合っていかなければならない。

出典：オムロンねむりラボ

<http://nemuri-lab.jp/enquete/osake/3151/> (2013/12/4 閲覧)

第6章 お風呂

——毎日のバスタイムを心躍るひとときに——

穂坂宏孝（班長）

相崎美帆（入力担当）、直井絵莉子（発送担当）

千葉華澄（調査票担当）、原田瑛里（分析担当）

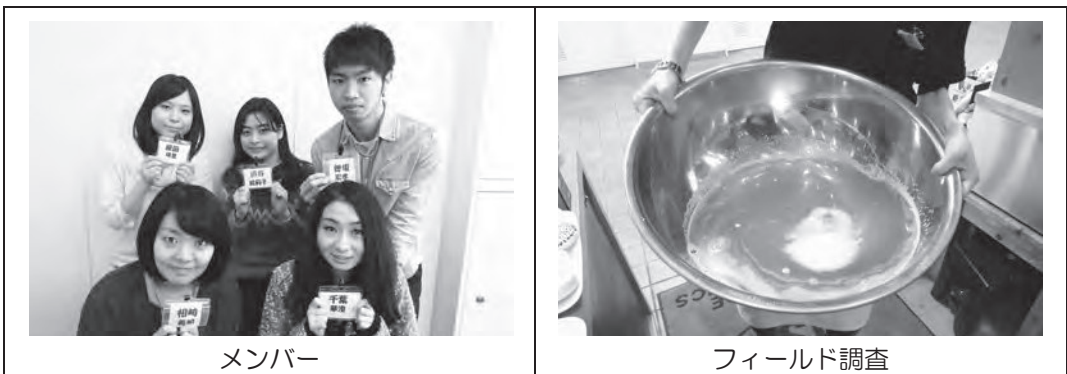
第1節 問題関心

この章では、人びとが入浴時にどのような行動をとっているかを調べた。入浴は人々の生活において自身を清潔に保ち、心もリフレッシュできる欠かせない日常活動の一つである。

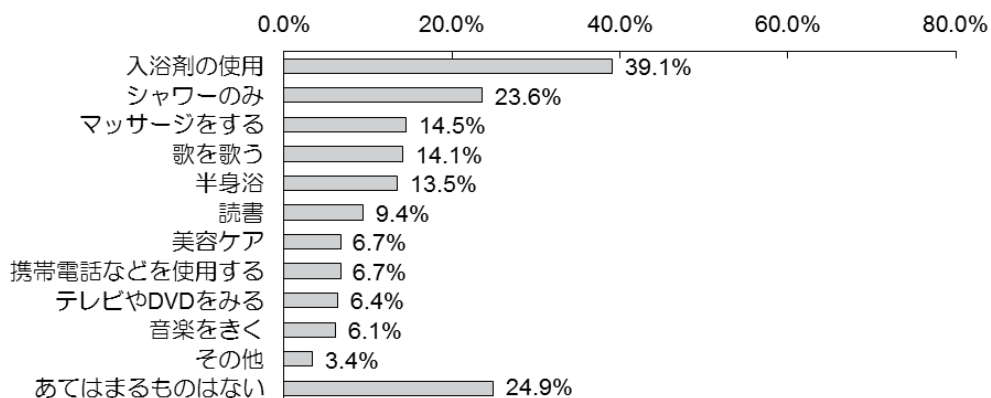
お風呂の歴史は、6世紀に仏教の伝来とともに、中国から伝わってきたといわれている。たっぷりの湯に首までつかる「据え風呂」ができたのは、江戸時代ごろである。据え風呂は蒸気や薬湯ではなく、井戸水を沸かして入れるので「水（すい）風呂」とも呼ばれた。一般家庭に家風呂が普及していったのは戦後である。住宅の進化とともに「家風呂」が各地に広まっていった。1988年の『総務局住宅統計調査』によれば、東京の住宅における内風呂の普及率は87.9%だった。現在はさらに普及していると考えられる。電気・ガスを利用した様々な風呂の登場後、温度自動調節機能や乾燥機能付きの浴室、ジャグジー、テレビ付きなど、暮らしのエンターテインメントのひとつとして、日本の家風呂は独特の発展を遂げた。現在では、半身浴や寝浴、入浴剤・アロマなど家庭での入浴法を工夫する人も多い。そこで私たちはその中でも一般的に広く利用されている入浴剤に焦点を当て、以下の仮説を立てた。

仮説1：女性ほど、入浴時間が長いので、入浴剤をよく使用するだろう。年配の人ほど疲れが取れにくくなるため、入浴剤を使用するだろう。

仮説2：入浴剤を使う人ほど美容に気を使う人が多いので入浴中に美容ケアをする人が多いだろう。また、入浴剤を使うと湯船に長く浸かるので体があたたまり寝つきが良くなるだろう。



問 16 あなたは、入浴時に以下にあげるような過ごし方をしますか（〇はいくつでも）



第 2 節 集計結果

問 16 で「あなたは、入浴時に以下に挙げるような過ごし方をしますか（〇はいくつでも）」と質問した。選択肢は、「読書」「テレビや DVD を見る」「音楽をきく」「半身浴」「歌を歌う」「マッサージをする」「美容ケア」「入浴剤の使用」「携帯電話などを使用する」「シャワーのみ」「その他」「当てはまるものはない」であった。

単純集計表から、入浴剤を使用する人がもっとも多く 39.1%いた。続いて、シャワーのみの人が 23.6%だった。また、美容ケアをする人は 6.7%という結果になった。

入浴剤を使用する人は、予想通り 1 番多かった。穂坂の母は入浴剤を毎日使用しており、それが結果にも反映されることとなった。

第 3 節 原因の分析

グループ別に入浴剤を使用する人を比較した。入浴剤を使用するのは、女性 170 人のうち 47.6%、男性 120 人のうち 26.7%だった。カイ二乗検定の結果、男女別では女性のほうが有意に入浴剤を使用していた（有意確率 0.0%）。私たちは、女性ほど長く湯船に浸かるため、入浴剤を使うのではないかと予想した。原田の友人（女性）は自分へのご褒美として入浴剤を使用することがあり、そのような女性が多いのではないかとと思われる。

30 代以下 102 人のうち 30.4%、40 代以上 193 人のうち 43.5%が入浴剤を使用していた。年齢別では、年配の人が有意に入浴剤を使用していた（有意確率 2.8%）。年齢を重ねると体の疲れが取れにくくなるため、入浴剤を使うのではないかと予想した。相崎の祖父母は入浴剤をほぼ毎日使用しており、「入浴剤を使うと体がすっきりする」と言っていた。したがって仮説 1 は支持された。

第4節 結果の分析

入浴剤を使用する人とそうでない人をグループにわけて比較した。美容ケアをする人は、入浴剤を使用する人 116 人のうち 11.2%、そうでない人 181 人のうち、3.9%だった。カイニ乗検定の結果、入浴剤を使用する人ほど、有意に入浴時に美容ケアをしていた（有意確率 1.4%）。入浴剤に美容効果があると考え人は、美意識が高いので美容ケアをする人が多くなるのではないかと考えた。実際に千葉は入浴剤を使用するときにはより高い美容効果を求めて、美容パックを使用することがある。

寝つきが悪い人は、入浴剤を使用する人 114 人のうち 18.4%、そうでない人 181 人のうち 24.3%だった。入浴剤を使用する人もそうでない人も、寝つきの悪さに差はあまり出なかった（有意確率 23.5%）。入浴剤に求める効果は人それぞれなため、寝つきの良し悪しには必ずしも関係するとは言えないのだろう。したがって仮説 2 は部分的に支持された。

第5節 フィールド調査

相崎と千葉と穂坂が LUSH 吉祥寺店にフィールド調査に行った。LUSH は石鹸・入浴剤などお風呂用品を取り扱っている。入浴剤の中で 1 番人気商品の「アボバス？」* に代表されるように、LUSH の製品は原材料に果物や野菜を使用するなど天然素材の使用こだわっているのが特徴である。LUSH の商品を通じて動物実験の反対や自然環境の保護・人権保護などの社会貢献活動も行っている。店内はアットホームな雰囲気でも多彩な商品を扱っているのが人気の一因だと感じた。

第6節 インタビュー調査

2013 年 11 月 14 日に LUSH の店員 A さん（30 代・女性）に入浴剤に関するインタビューを実施した。営業中の店内にて忙しい中、商品の実演などをしてもらいながら丁寧にインタビューに応じてくれた。

穂坂「お店に来る客の男女比や年齢層を教えてください」

A「男女比は男性 3：女性 7 くらいですね。10 代~60 代くらいの方まで幅広く来ていただいています。家族で来店されて娘の影響で LUSH の商品を使い始めた、というお客様もいらっしゃいます」

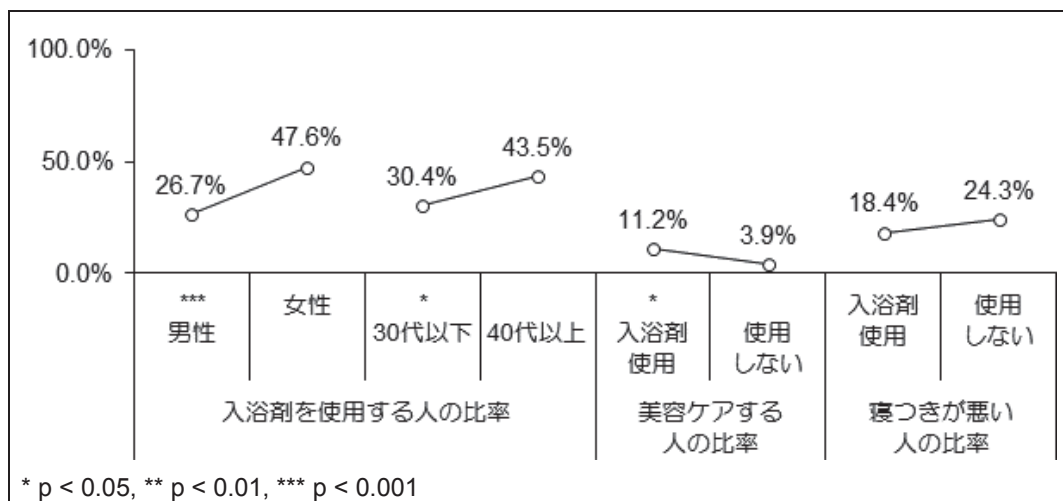
相崎「入浴中に使う美容ケアグッズにはどのようなものがありますか」

A「フェイスパックやエッセンシャルオイルでできた固形のマッサージバーなどがあります。入浴剤と一緒に買われていくお客様も多いですよ」

千葉「どのような時に LUSH の入浴剤を使用する機会が多いですか」

A「入浴剤 1 つが大きいのと、値段が安くはないので、自分へのご褒美として使用される方も多いですね」

穂坂「使用すると寝つきが良くなる入浴剤はありますか」



A「はっきりと効果があるとは言えませんが、入浴剤の香りからのリラックス効果でぐっすり眠れるかもしれませんね」

A さんの話を聞いて、LUSH に来る客は入浴剤などのお風呂グッズに美容効果だけを求めて買いに来るのではなく、純粋に入浴時間を楽しむために買う人が多いようだと感じた。遊び心満載の商品ばかりで見ているだけでも楽しめる店内であった。

第7節 感想

日本の文化であるお風呂というテーマは私たちにとっても調査対象の方々にとっても親しみやすいテーマであったと思う。調査にあたって苦労した点は調査票の設問を考える際に、入浴中の過ごし方の選択肢を絞ることだった。なぜなら、入浴中の過ごし方は人それぞれであり、多様な選択肢が考えられたからである。

現在のお風呂はただ自分の体を清潔に保つためだけの空間ではなく、一種のエンターテイメントとしての文化が築き上げられている、と感じた。

注)

* LUSH ホームページ <http://www.lushjapan.com/product/productdetail.asp?SC=158>

第7章 子育て

——パパと遊ぼう！——

瀧野恵理（班長）

井上幸洋（分析担当）、益田侑希（調査票、発送担当）、山地里果（入力担当）

第1節 問題関心

この章では、幼少期に父親と遊んだ経験が家族との過ごし方にどのような影響を与えているのかを調べた。幼少期にどれだけ家族と触れあったかは、その後の家族に対する考え方に影響していると考えられるからだ。とくに育児に対する父親の関わり方は、変化してきている。

日本では出産後、女性が引き続き育児を行うのが一般的であったが、近年、育児休暇をとって積極的に育児を行う男性が増えてきた。育児・介護休業法は1991年に制定され、2009年に改正された。厚生労働省の調査によると、2004年時点での男性の育児休業取得率はわずか0.56%であったが、その後徐々に取得率は上昇し、2011年には2.63%にあがった。こうした育児を積極的に率先して行う男性を指す「イクメン」という言葉が、ユークキャン新語・流行語大賞にて2010年のトップテンとなるほど、男性の育児参加が注目されるようになっている。

しかし、男性の育児休業取得率は確かに上昇しているものの、依然低いままだ。そのため、男性の育児参加は注目されるようになってきているが、その実態が伴っていないのではないかと考えた。そこで私たちは、以下の仮説をたてた。

仮説1：若い人ほど、近年父親の育児参加が増えてきたので、父親と遊んだらう。男性ほど、外でよく遊ぶため、父親と遊ぶ機会が多かったらう。

仮説2：父親と遊んだ人ほど、父親も育児に積極的だったはずなので、性別役割分業観を持たないだらう。また、父親と遊んだ人ほど、家族の仲が良いので、家族と旅行に行くだらう。

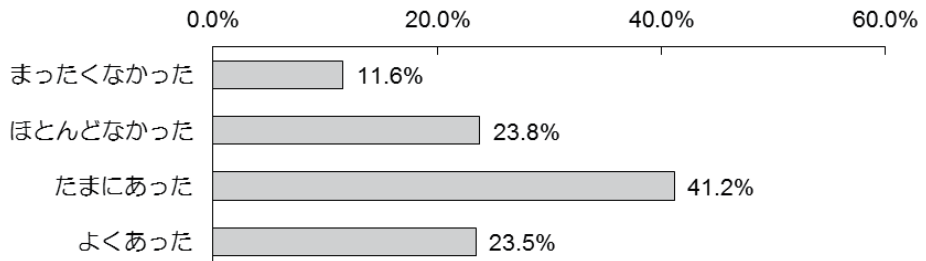


メンバー



フィールド調査

問 23 ア) あなたは小学校に入学する頃までに、父親と外（公園、レジャー施設など）で遊ぶような経験をしましたか（○は1つ）



第2節 集計結果

問 23（ア）で「あなたは、小学校に入学する前頃までに、父親と外（公園、レジャー施設など）で遊んだ経験をしましたか（○はそれぞれ1つ）」と質問した。選択肢は、「よくあった」「たまにあった」「ほとんどなかった」「まったくなかった」であった。

単純集計表から、たまにあったという人がもっとも多く 41.2%いた。よくあったという人が 23.5%だった。したがって、父親と遊んだ経験のある人は 64.7%にのぼることになる。一方、ほとんどなかったという人は、23.8%、まったくなかったという人は 11.6%にとどまった。

小学校に入学する前頃までに、父親と外で遊んだ経験があったという人は、多いと予想していたが、6割を超えるほど多いとは予想していなかった。益田は幼少期、自転車の練習を父親と一緒にやった記憶があるが、そこまで頻りに遊んだ記憶があるわけではないため、幼少期に父親と遊んだ経験のある人がこれほど多いのは意外だった。

第3節 原因の分析

グループ別に、就学前に父親と遊んだ人を比較した。30代以下 102人のうち 81.4%、40代以上 190人のうち 55.3%の人が父親とよく遊んだと答えていた。カイ二乗検定の結果、年齢別では、若い人が有意に父親と遊んでいた（有意確率 0.0%）。井上は就学前に父親によく近くの公園に連れて行ってもらい遊んだ記憶があった。また瀧野も家族と山や海に行き、父親とよく遊んだ記憶がある。このように、現在 21歳の井上、瀧野は父親とよく遊んでいた。

男女別では、父親と遊んだ人は男性 120人のうち 63.3%、女性 167人のうち 65.9%と、男性も女性も同じくらい父親と遊んでいた（有意確率 6.3%）。山地は幼い頃妹とお人形遊びをすることが多かったので父親とはあまり遊ばなかった。そのため女性はおままごとなどをして父親とはあまり遊ばないイメージであったが、あまり差が出ないことが意外だった。したがって、仮説 1 は部分的に支持された。

第4節 結果の分析

父親と遊んだ経験のある人とそうでない人を、グループにわけて比較した。性別役割分業観を持つ人は、父親と遊んだ経験のある人 188 人のうち 68.6%、父親と遊んだ経験のない人 103 人のうち 82.5%だった。カイ二乗検定の結果、父親と遊ばなかった人ほど「男は外で働き、女は家庭を守るべきだ」といった性別役割分業観を有意に持っていた(有意確率 1.0%)。やはり父親とよく遊んだ人ほど、父親も母親も平等に育児に参加していたはずなので、性別役割分業観を持たない傾向があるのだろう。反対に父親と遊ばなかった人のうちの 8 割の人が性別役割分業観を持っているというのは驚きだった。

父親と遊んだ人ほど、配偶者以外の家族と国内旅行に有意に行っていた(有意確率 0.2%)。配偶者以外の家族と国内旅行に行く人は、父親と遊んだ経験のある人 189 人のうち 42.3%、父親と遊んだ経験のない人 104 人のうち 24.0%だった。父親が育児に参加すると、母親とも子育ての面で協力し合える関係になるので、夫婦仲がよくなり、また親子の仲も良くなるだろう。そのような環境で育った子どもは、自分の経験と同じように夫婦間及び親子間の仲を築こうとするはずだ。以上の理由から、父親と遊んだ人ほど、家族仲が良いので、旅行に行くにしても家族と行くようになるのだろう。したがって、仮説 2 は支持された。

第5節 フィールド調査

2013 年 5 月に班全員で武蔵野市の保育園に行った。園長さんに一番広いホールでお話を聞き、それから施設を見せていただいた。ホールは発表会を行ったり、園児の母親と食事を楽しんだりする場であるという。各教室には園児の作品が展示され、広い園庭では園児たちが楽しそうに遊んでいるなど、施設内は大変なごやかな雰囲気だった。また、保育園に通っていない子供へも施設を開放しているようだ。このように保育園は、母親にとっても子供にとってもいい手助けになっているようだ。しかし、園児の父親の姿はあまり見られず、園長さんのお話でも近年の父親の育児参加への変化はあまり感じられなかった。

第6節 インタビュー調査

2013 年 11 月に瀧野が武蔵野市子育てフェスティバルへのボランティア活動に参加した。そこで武蔵野市内の保育園で働いている保育士の A さんに話を伺った。

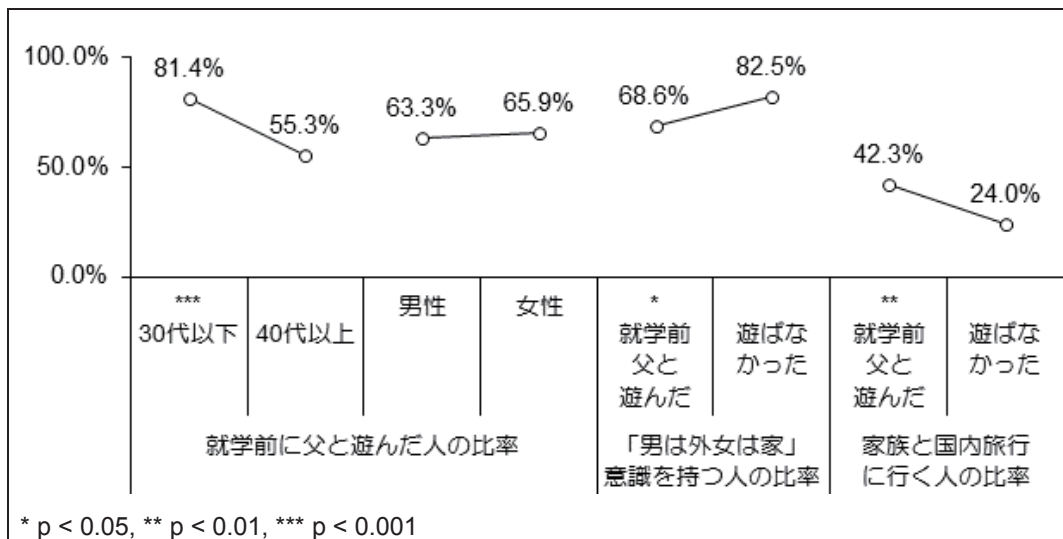
瀧野「イベントにはどのような人が参加していますか」

A さん「0 歳から小学生くらいまでの子供を連れてお母さんお父さんがいらっしゃっています。

平日より休日の方がお父さんがイベントに参加されます。今日は土曜日なので、夫婦で来られた方もいっぱいいらっしゃいますね」

瀧野「最近の父親の育児参加についてはどういう風にありますか」

A さん「印象としては、最近、お父さんが保育園に子供を送って、お母さんが迎えに来るなど、夫婦間で子育てを分業している家庭が多いです。そういう意味では父親の育児参加が



増えてきたのかなと思います。このイベントも、最近夫婦で参加されるようになってきました」

瀧野「もっと人々がこのイベントに参加してもらうために、どのような工夫をされていますか。また、お父さんも来やすい環境づくりなど、されていますか」

Aさん「工作スペースなど子供が一人で親が一緒じゃなくても過ごせるスペースもあるため、お母さんたちも余裕をもって参加できるのだと思います。またあんまりおもちゃが女の子向けになってしまうとお父さんだけで来づらいので、おもちゃの装飾をあんまりフリフリにしすぎないように工夫しています」

イベントに行く前は、父親は育児にあまり参加しておらず、イベントへの父親の参加率も低いと予想していた。しかし実際に行ってみると、意外と夫婦で来ている人も見られた。今回フィールド調査とインタビューで保育士の方々とお話したが、父親の育児参加の有無は地域によっても異なっているのではないかと思った。全体を通してみると、いくら昔よりも父親の育児参加が増えてきたといっても、やはりまだまだ少ないような印象を受けた。

第7節 感想

今回「父親と遊んだ」経験と「子育て」を結びつけての考察だったが、私たちの班は誰もが父親と遊んだ経験は少なからずあるものの、子育ての経験はないため、想像するのが難しかった。また性別役割分業観という個人の価値観や、父親と遊んだという個人の経験を、子育てという人々の生活を結びつけることにも苦戦した。

しかし今回子育てについて調べ、実際に保育園やイベントに行き、親子へのいい環境作りに尽力している人々がたくさんいることを実感した。将来子供を持った時にもそのような施設を利用し、いい環境の中で子供を育てていきたいと思った。また自分が子供を育てるようになるまでに、もっと育児休暇などの制度を充実させてほしいと思った。

資料 A 単純集計表、平均の比較、相関係数

問1 まず、あなたの性別と年齢を、お聞かせください（○はそれぞれ1つ）

	人数	%	有効%	累積%
0 女	170	57.0	58.4	58.4
1 男	121	40.6	41.6	100.0
有効回答計	291	97.7	100.0	
999 無回答	7	2.3		
合計	298	100.0		

	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
0 女		100.0	54.6	51.2	55.9	50.2
1 男	100.0		45.4	48.8	44.1	49.8

	人数	%	有効%	累積%
2 20代	30	10.1	10.1	10.1
3 30代	73	24.5	24.7	34.8
4 40代	92	30.9	31.1	65.9
5 50代	52	17.4	17.6	83.4
6 60代	49	16.4	16.6	100.0
有効回答計	296	99.3	100.0	
999 無回答	2	.7		
合計	298	100.0		

	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
2 20代	5.0	14.1	29.1		30.9	2.3
3 30代	25.8	24.1	70.9		27.2	23.8
4 40代	29.2	32.4		47.7	18.5	35.5
5 50代	22.5	14.1		26.9	14.8	18.7
6 60代	17.5	15.3		25.4	8.6	19.6

問2 あなたには、以下のことがあてはまりますか（○はいくつでも）

	人数	%	有効%	累積%
1 西東京市に住んでいることに、満足している	190	63.8	64.0	
2 西東京市に、生まれたところから住んでいる	54	18.1	18.2	
3 西東京市に、成人する前から住んでいる	57	19.1	19.2	
88 どれも当てはまらない	61	20.5	20.5	

有効回答計	297	99.7	100.0
999 無回答	1	0.3	
合計	298	100.0	

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 満足している	65.3	63.3	66.0	63.0	58.0	66.0
2 生まれたところから住んでいる	21.5	15.4	17.5	18.8	27.2	14.4
3 成人する前から住んでいる	21.5	17.8	26.2	15.6	38.3	12.1
88 どれも当てはまらない	15.7	23.7	18.4	21.4	17.3	21.9

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3
1 満足している			
2 生まれたところから住んでいる	-.228**		
3 成人する前から住んでいる	-.097	.369**	

問3 保谷こもれびホール（保谷庁舎に隣接）では、2か月に一度映画が上映されています。こもれびホールでの映画上映に行ったことはありますか（○は1つ）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 毎回必ず行く	0	0.0	0.0	
2 みたい映画の上映であれば行く	27	9.1	9.1	9.1
3 上映していることは知っているが行ったことはない	142	47.7	47.7	47.7
4 映画を上映していることを知らない	129	43.3	43.3	43.3
有効回答計	298	100.0	100.0	100.0
999 無回答	0	0.0		
合計	297	100.0		

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 毎回必ず行く	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 みたい映画の上映であれば行く	5.0	12.4	5.8	10.9	12.3	7.9
3 上映していることは知っている...	46.3	48.2	33.0	56.0	37.0	51.4
4 映画を上映していることを...	48.8	39.4	61.2	33.2	50.6	40.7

問4 暮らしについての以下の意見についてどう思いますか（○はそれぞれ1つ）

ア) 人々の間の格差は、今より少なくなるべきだ

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 そう思わない	25	8.4	8.5	8.5
2 どちらかといえばそう思わない	53	17.8	18.0	26.4
3 どちらかといえばそう思う	128	43.0	43.4	69.8

5 そう思う	89	29.9	30.2	100.0
有効回答計	295	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	298	100.0		

イ) 男は外で働き、女は家庭を守るべきだ

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 そう思わない	133	44.6	45.1	45.1
2 どちらかといえばそう思わない	93	31.2	31.5	76.6
3 どちらかといえばそう思う	55	18.5	18.6	95.3
5 そう思う	14	4.7	4.7	100.0
有効回答計	295	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	298	100.0		

ウ) 妻と夫は同一の姓を名乗るべきだ

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 そう思わない	52	17.4	18.1	18.1
2 どちらかといえばそう思わない	43	14.4	14.9	33.0
3 どちらかといえばそう思う	117	39.3	40.6	73.6
5 そう思う	76	25.5	26.4	100.0
有効回答計	288	96.6	100.0	
999 無回答	10	3.4		
合計	298	100.0		

エ) 小学校に上がる前の子供の母親が仕事を持つのは子供によくない影響を与える

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 そう思わない	121	40.6	41.0	41.0
2 どちらかといえばそう思わない	81	27.2	27.5	68.5
3 どちらかといえばそう思う	64	21.5	21.7	90.2
5 そう思う	29	9.7	9.8	100.0
有効回答計	295	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	298	100.0		

オ) 子供が3歳くらいまでの間は、保育所等を利用せずに親が子供の世話をすべきだ

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 そう思わない	79	26.5	26.7	26.7
2 どちらかといえばそう思わない	53	17.8	17.9	44.6
3 どちらかといえばそう思う	119	39.9	40.2	84.8
5 そう思う	45	15.1	15.2	100.0
有効回答計	296	99.3	100.0	
999 無回答	2	.7		
合計	298	100.0		

平均の比較

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
ア 人びとの格差は今より少なく...	2.90	2.98	2.72	3.08	2.96	2.95
イ 男は外で働き、女は家庭を...	2.03	1.69	1.76	1.87	1.74	1.86
ウ 妻と夫は同一の姓を名乗るべきだ	2.87	2.69	2.76	2.76	2.53	2.84
エ 子供が小学校に上がるまでは...	2.15	1.89	1.89	2.07	1.93	2.03
オ 子供が3歳くらいまでの間は...	2.59	2.33	2.24	2.56	2.39	2.46

問5 あなたには、以下のことが当てはまりますか（○はいくつでも）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 現在、フルタイムの仕事をしている	156	52.3	52.3	
2 現在、パートの仕事をしている	51	17.1	17.1	
3 現在、アルバイトの仕事をしている	5	1.7	1.7	
4 現在、配偶者がいる	216	72.5	72.5	
88 どれも当てはまらない	25	8.4	8.4	
有効回答計	298	100.0		
999 無回答	0	0.0		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 フルタイムの仕事をしている	85.1	28.8	59.2	48.2	63.0	48.6
2 パートの仕事をしている	1.7	27.6	6.8	22.8	7.4	20.8
3 アルバイトの仕事をしている	0.0	2.9	3.9	0.5	3.7	0.9
4 現在、配偶者がいる	71.9	71.8	54.4	81.9	0.0	100.0
88 どれも当てはまらない	6.6	10.0	12.6	6.2	28.4	0.5

問6 あなたは過去1年間に国内外旅行や出張（いずれも1泊以上）に何回くらい行きましたか

ア) 国内出張：回数

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 行っていない	248	83.2	84.4	
1 以上	46	15.4	15.6	
有効回答計	294	98.7	100.0	
999 無回答	4	1.3		
合計	298	100.0		
平均回数	1.68回			

イ) 国内旅行：回数

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 行っていない	74	24.8	25.5	
1 回以上	216	72.5	74.5	
有効回答計	290	97.3	100.0	
999 無回答	8	2.7		
合計	298	100.0		
平均回数	1.92 回			

ウ) 海外出張：回数

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 行っていない	281	94.3	94.6	
1 回以上	16	5.4	5.4	
有効回答計	297	99.7		
999 無回答	1	0.3		
合計	298	100.0		
平均回数	0.22 回			

エ) 海外旅行：回数

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 行っていない	245	82.2	82.5	
1 回以上	52	17.4	17.5	
有効回答計	297	99.7		
999 無回答	1	0.3		
合計	298	100.0		
平均回数	0.23 回			

平均の比較（回）

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
ア) 国内出張	3.55	0.29	0.92	2.12	0.25	2.23
イ) 国内旅行	2.08	1.80	1.91	1.93	1.87	1.95
ウ) 海外出張	0.43	0.09	0.11	0.29	0.12	0.26
エ) 海外旅行	0.15	0.26	0.30	0.18	0.16	0.25

問7 過去1年間に出張以外の旅行（1泊以上）にだれかと一緒に行きましたか（〇はいくつでも）

ア) 国内旅行

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 友人	43	14.4	14.5	
2 恋人	13	4.4	4.4	
3 配偶者	152	51.0	51.2	
4 配偶者以外の家族	107	35.9	36.0	

5 同僚	14	4.7	4.7
6 1人	16	5.4	5.4
7 その他	16	5.4	5.4
88 行っていない	74	24.8	24.9
有効回答計	297	99.7	100.0
999 無回答	1	0.3	
合計	298	100.0	

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 友人	10.8	17.6	22.5	10.4	33.8	7.4
2 恋人	2.5	5.9	11.8	0.5	16.3	0.0
3 配偶者	53.3	48.8	46.1	53.4	0.0	69.9
4 配偶者以外の家族	32.5	39.4	44.1	31.6	28.8	38.9
5 同僚	10.0	0.6	3.9	5.2	5.0	4.6
6 1人	9.2	2.4	3.9	6.2	10.0	3.7
7 その他	6.7	4.7	3.9	5.7	3.8	6.0
88 行っていない	25.8	24.1	19.6	28.0	33.8	21.3

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7
1 友人							
2 恋人	.193**						
3 配偶者	-.192**	-.219**					
4 配偶者以外の家族	.010	.011	.340**				
5 同僚	-.001	.030	-.005	-.068			
6 1人	.114	-.051	-.095	-.117*	.158**		
7 その他	-.013	-.051	-.006	.069	-.053	.009	

イ) 海外旅行

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 友人	7	2.3	2.4	
2 恋人	0	0.0	0.0	
3 配偶者	35	11.7	11.9	
4 配偶者以外の家族	20	6.7	6.8	
5 同僚	3	1.0	1.0	
6 1人	1	0.3	0.3	
7 その他	2	0.7	0.7	
88 行っていない	247	82.9	83.7	
有効回答計	295	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 友人	1.7	3.0	6.9	0.0	6.3	0.9

2 恋人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 配偶者	9.9	12.0	11.8	11.5	0.0	16.3
4 配偶者以外の家族	5.0	7.2	7.8	6.3	3.8	7.9
5 同僚	2.5	0.0	1.0	1.0	1.3	0.9
6 1人	0.8	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5
7 その他	0.0	1.2	0.0	1.0	0.0	0.9
88 行っていない	86.0	83.2	80.4	85.9	89.9	81.4

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7
1 友人							
2 恋人	---						
3 配偶者	.012	---					
4 配偶者以外の家族	.135*	---	.568**				
5 同僚	-.016	---	-.037	-.027			
6 1人	-.009	---	-.021	-.016	-.006		
7 その他	-.013	---	.225**	-.022	-.008	-.005	

問8 あなたはこの5年間で以下のことをどのくらいしましたか (〇はそれぞれ1つ)

ア) カラオケ (スナックや自宅含む)

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 ほとんどない	128	43.0	43.1	43.1
1 数年に1回	31	10.4	10.4	53.5
2 年1回くらい	33	11.1	11.1	64.6
3 年数回くらい	86	28.9	29.0	93.6
4 月1回以上	17	5.7	5.7	99.3
5 週1回以上	2	.7	.7	100.0
有効回答計	297	99.7	100.0	
999 無回答	1	.3		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
0 ほとんどない	38.0	45.6	25.2	52.6	34.6	46.0
1 数年に1回	9.1	11.8	13.6	8.9	9.9	10.7
2 年1回くらい	9.9	11.2	12.6	10.4	7.4	12.6
3 年数回くらい	37.2	24.3	39.8	22.9	35.8	26.5
4 月1回以上	5.0	6.5	7.8	4.7	12.3	3.3
5 週1回以上	0.8	0.6	1.0	0.5	0.0	0.9

ウ) 映画館で映画を見る

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 ほとんどない	82	27.5	27.7	27.7
1 数年に1回	47	15.8	15.9	43.6

2 年1回くらい	58	19.5	19.6	63.2
3 年数回くらい	100	33.6	33.8	97.0
4 月1回以上	9	3.0	3.0	100.0
5 週1回以上	0	0.0	0.0	
有効回答計	296	99.3	100.0	
999 無回答	2	.7		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
0 ほとんどない	37.5	21.3	22.3	30.9	28.8	27.0
1 数年に1回	14.2	17.2	19.4	14.1	13.8	16.7
2 年1回くらい	18.3	20.1	21.4	18.8	17.5	20.5
3 年数回くらい	29.2	37.9	33.0	34.0	32.5	34.4
4 月1回以上	.8	3.6	3.9	2.1	7.5	1.4
5 週1回以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	ア	イ
ア カラオケ…		
イ 映画館で映画を見る	.218**	

問9 以下にあげる人と映画館に行くとき、もっとも重視する条件は何ですか (○はそれぞれ1つ)

ア) 恋人や配偶者

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 時間	12	4.0	4.1	
2 場所	20	6.7	6.8	
3 設備サービス	16	5.4	5.4	
4 映画の内容	201	67.4	68.1	
5 その他	3	1.0	1.0	
88 そのような人と行ったことはない	43	14.4	14.6	
有効回答計	295	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 時間	5.0	3.6	2.9	4.7	3.8	4.2
2 場所	10.1	4.7	9.7	4.7	2.5	8.4
3 設備サービス	2.5	7.7	8.7	3.7	7.5	4.7
4 映画の内容	64.7	69.2	66.0	69.5	57.5	72.4
5 その他	0.7	1.2	0.0	1.6	0.0	1.4
88 そのような人と行ったことはない	16.8	13.6	12.6	15.8	28.8	8.9

イ) 配偶者を除く家族

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 時間	18	6.0	6.1	
2 場所	32	10.7	10.9	
3 設備サービス	16	5.4	5.5	
4 映画の内容	151	50.7	51.5	
5 その他	5	1.7	1.7	
88 そのような人に行ったことはない	71	23.8	24.2	
有効回答計	293	98.3	100.0	
999 無回答	5	1.7		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	平均の比較 (%)		年齢		婚姻	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 時間	5.0	7.2	5.8	6.4	3.8	7.1
2 場所	9.2	12.6	16.5	7.4	10.0	11.3
3 設備サービス	4.2	6.0	4.9	5.3	2.5	6.6
4 映画の内容	44.5	55.7	48.5	53.7	46.3	53.3
5 その他	2.5	1.2	1.9	1.6	2.5	1.4
88 そのような人に行ったことはない	34.5	17.4	22.3	25.5	35.0	20.3

ウ) 友人

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 時間	18	6.0	6.2	
2 場所	32	10.7	11.0	
3 設備サービス	13	4.4	4.5	
4 映画の内容	165	55.4	56.7	
5 その他	1	.3	.3	
88 そのような人に行ったことはない	62	20.8	21.3	
有効回答計	291	97.7	100.0	
999 無回答	7	2.3		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	平均の比較 (%)		年齢		婚姻	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 時間	5.1	7.2	7.8	5.3	6.3	6.2
2 場所	11.0	10.8	13.7	9.6	8.8	11.9
3 設備サービス	4.2	4.8	4.9	4.3	1.3	5.7
4 映画の内容	44.1	66.3	58.8	55.1	61.3	54.8
5 その他	0.8	0.0	1.0	0.0	0.0	0.5
88 そのような人に行ったことはない	34.7	10.8	13.7	25.7	22.5	21.0

工) 1人

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 時間	17	5.7	5.9	
2 場所	18	6.0	6.2	
3 設備サービス	10	3.4	3.5	
4 映画の内容	176	59.1	60.9	
5 その他	4	1.3	1.4	
88 そのような人と行ったことはない	64	21.5	22.1	
有効回答計	289	97.0	100.0	
999 無回答	9	3.0		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	性別		年代		婚姻	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 時間	6.8	5.5	9.7	3.8	6.3	5.7
2 場所	5.1	7.3	10.7	3.8	10.1	4.8
3 設備サービス	2.6	4.2	3.9	3.3	2.5	3.8
4 映画の内容	58.1	61.8	50.5	66.3	58.2	61.7
5 その他	1.7	1.2	0.0	2.2	1.3	1.4
88 そのような人と行ったことはない	25.6	20.0	25.2	20.7	21.5	22.5

問10 カラオケボックスに行く目的は何ですか (〇はいくつでも)

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 歌うことを楽しむため	121	40.6	40.6	
2 ストレス発散のため	95	31.9	31.9	
3 友人と交流するため	104	34.9	34.9	
4 つきあいや接待のため	69	23.2	23.2	
5 歌の練習をするため	23	7.7	7.7	
6 食事をするため	8	2.7	2.7	
7 歌わずおしゃべりするため	9	3.0	3.0	
8 その他	4	1.3	1.3	
88 カラオケボックスには行かない	96	32.2	32.2	
有効回答計	298	100.0	100.0	
999 無回答	0	0.0		
合計	298	100.0		

その他：「家族を含めて」、「会社の行事などで」、「家族サービス」、「家族の交流」。

平均の比較 (%)

	性別		年代		婚姻	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 歌うことを楽しむため	40.5	41.8	58.3	31.6	46.9	38.4
2 ストレス発散のため	29.8	34.1	48.5	23.3	35.8	30.6
3 友人と交流するため	36.4	35.3	42.7	31.1	32.1	36.1
4 つきあいや接待のため	28.9	18.8	26.2	21.8	25.9	22.2
5 歌の練習をするため	5.8	9.4	9.7	6.7	9.9	6.9

6	食事をするため	2.5	2.9	3.9	2.1	3.7	2.3
7	歌わずおしゃべりするため	0.8	4.7	4.9	2.1	6.3	1.9
8	その他	2.5	0.6	0.0	1.6	0.0	1.9
88	カラオケボックスには行かない	28.1	34.1	16.5	40.4	29.6	32.9

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1 歌うことを...								
2 ストレス発散...	.475**							
3 友人と交流...	.283**	.330**						
4 つきあいや接待...	-.016	-.171**	.099					
5 歌の練習...	.273**	.261**	.078	.020				
6 食事をするため	.159**	.109	.053	.007	.185**			
7 歌わずおしゃべり...	.015	.091	.036	-.004	.096	-.029		
8 その他	.022	-.017	-.085	-.064	.076	-.019	-.021	

問 11 ふだん、あなたはどんな種類のお酒を飲みますか (〇はいくつでも)

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 ビール	157	52.7	52.7	
2 発泡酒	83	27.9	27.9	
3 日本酒	63	21.1	21.1	
4 焼酎	80	26.8	26.8	
5 ワイン	90	30.2	30.2	
6 ウィスキー (ハイボール除く)	20	6.7	6.7	
7 ハイボール	37	12.4	12.4	
8 カクテル	52	17.4	17.4	
9 酎ハイ	83	27.9	27.9	
10 果実酒	61	20.5	20.5	
11 その他	2	.7	.7	
88 飲酒しない	77	25.8	25.8	
有効回答計	298	100.0	100.0	
999 無回答	0	0.0		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 ビール	65.3	42.9	52.4	52.3	42.0	56.9
2 発泡酒	28.9	27.1	25.2	29.0	23.5	29.6
3 日本酒	28.1	15.3	19.4	21.8	23.5	20.4
4 焼酎	48.8	11.2	28.2	26.4	24.7	27.8
5 ワイン	24.8	32.9	27.2	31.6	29.6	30.6
6 ウィスキー (ハイボール除く)	9.9	2.4	2.9	8.3	3.7	7.9
7 ハイボール	16.5	8.2	20.4	7.8	13.6	12.0
8 カクテル	9.1	23.5	31.1	9.8	25.9	14.4
9 酎ハイ	26.4	28.8	36.9	22.3	37.0	24.5

10	果実酒	14.9	24.1	31.1	14.0	25.9	18.5
11	その他	0.0	0.6	0.0	1.0	1.2	0.5
88	飲酒しない	20.7	29.4	20.4	29.0	21.0	27.3

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 ビール										
2 発泡酒	.409**									
3 日本酒	.310**	.137*								
4 焼酎	.392**	.249**	.280**							
5 ワイン	.272**	.227**	.322**	.162**						
6 ウィスキー...	.227**	.192**	.354**	.170**	.174**					
7 ハイボール	.235**	.265**	.304**	.323**	.196**	.224**				
8 カクテル	.046	.030	.022	-.039	.025	.018	.122*			
9 酎ハイ	.229**	.232**	.027	.130*	.129*	.043	.356**	.207**		
10 果実酒	.098	.000	.145*	.030	.173**	.030	.137*	.424**	.278**	

問 12 眠ることについて、あなたには以下のことがあてはまりますか (〇はいくつでも)

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 寝つきが悪い	65	21.8	22.0	
2 すっきり起きられない	83	27.9	28.0	
3 いびきをかく	93	31.2	31.4	
4 寝ても疲れがとれない	115	38.6	38.9	
5 眠りが浅い	91	30.5	30.7	
6 手足が冷える	29	9.7	9.8	
7 よく寝違える	14	4.7	4.7	
8 その他	8	2.7	2.7	
88 どれもあてはまらない	48	16.1	16.2	
有効回答計	296	99.3	100.0	
999 無回答	2	0.7		
合計	298	100.0		

その他：「こきざみに目がさめる」、「動悸がする」、「歯ぎしり」(2 ケース)、「早く目がさめる」、「途中で起きるとなかなか寝れない」、「腕が痛い」、具体的記述なし1 ケース。

平均の比較 (%)

	性別		年代		婚姻	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 寝つきが悪い	15.0	27.2	24.5	20.3	20.0	22.8
2 すっきり起きられない	21.7	31.4	39.2	21.4	31.3	26.5
3 いびきをかく	54.2	15.4	29.4	32.8	20.0	35.3
4 寝ても疲れがとれない	35.8	40.2	46.1	34.4	36.3	40.0
5 眠りが浅い	24.2	34.9	24.5	33.9	27.5	32.1
6 手足が冷える	4.2	14.2	9.8	9.9	10.0	9.8
7 よく寝違える	3.3	5.9	2.9	5.7	6.3	4.2
8 その他	1.7	3.6	2.0	3.1	2.5	2.8
88 どれもあてはまらない	14.2	16.6	15.7	16.7	18.8	15.3

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1 寝つきが悪い								
2 すっきり起きられない	.178**							
3 いびきをかく	-.060	-.001						
4 寝ても疲れがとれない	.130*	.243**	-.047					
5 眠りが浅い	.319**	.106	-.057	.145*				
6 手足が冷える	.182**	.148*	-.052	.087	.174**			
7 よく寝違える	-.041	-.068	-.117*	.116*	-.079	-.073		
8 その他	.113	-.011	.022	.038	.115*	-.055	-.037	

問13 この1か月の間に、次のことをどのくらいよく感じましたか (○はそれぞれ1つ)

ア) 神経過敏に感じること

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 いつも	8	2.7	2.7	2.7
2 たいてい	19	6.4	6.5	9.2
3 ときどき	70	23.5	23.8	33.0
4 少しだけ	86	28.9	29.3	62.2
5 全くない	111	37.2	37.8	100.0
有効回答計	294	98.7	100.0	
999 無回答	4	1.3		
合計	298	100.0		

イ) 絶望的だと感じること

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 いつも	3	1.0	1.0	1.0
2 たいてい	7	2.3	2.4	3.4
3 ときどき	35	11.7	11.9	15.3
4 少しだけ	60	20.1	20.4	35.7
5 全くない	189	63.4	64.3	100.0
有効回答計	294	98.7	100.0	
999 無回答	4	1.3		
合計	298	100.0		

ウ) そわそわ、落ち着かなく感じること

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 いつも	1	.3	.3	.3
2 たいてい	5	1.7	1.7	2.0
3 ときどき	53	17.8	18.1	20.1
4 少しだけ	111	37.2	37.9	58.0
5 全くない	123	41.3	42.0	100.0

有効回答計	293	98.3	100.0
999 無回答	5	1.7	
合計	298	100.0	

エ) 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じる事

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 いつも	7	2.3	2.4	2.4
2 たいてい	21	7.0	7.1	9.5
3 ときどき	55	18.5	18.6	28.0
4 少しだけ	96	32.2	32.4	60.5
5 全くない	117	39.3	39.5	100.0
有効回答計	296	99.3	100.0	
999 無回答	2	.7		
合計	298	100.0		

オ) 何をするのも骨折りだと感じる事

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 いつも	3	1.0	1.0	1.0
2 たいてい	14	4.7	4.7	5.7
3 ときどき	51	17.1	17.2	23.0
4 少しだけ	101	33.9	34.1	57.1
5 全くない	127	42.6	42.9	100.0
有効回答計	296	99.3	100.0	
999 無回答	2	.7		
合計	298	100.0		

カ) 自分は価値のない人間だと感じる事

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 いつも	4	1.3	1.4	1.4
2 たいてい	10	3.4	3.4	4.7
3 ときどき	29	9.7	9.8	14.6
4 少しだけ	71	23.8	24.1	38.6
5 全くない	181	60.7	61.4	100.0
有効回答計	295	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	298	100.0		

平均の比較

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
ア 神経過敏に感じる事	4.21	3.72	3.90	3.96	3.71	4.01
イ 絶望的だと感じる事	4.54	4.37	4.28	4.53	4.15	4.56
ウ そわそわ、落ち着かなく...	4.29	4.13	4.12	4.24	4.03	4.26
エ 気分が沈みこんで、...	4.15	3.88	3.91	4.05	3.73	4.10
オ 何をするのも骨折りだと...	4.33	4.01	4.10	4.16	4.04	4.17
カ 自分は価値のない人間だと...	4.49	4.36	4.29	4.48	4.09	4.53

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
ア 神経過敏に感じる事						
イ 絶望的だと感じる事	.464**					
ウ そわそわ、落ち着かなく...	.534**	.502**				
エ 気分が沈みこんで、...	.515**	.671**	.602**			
オ 何をするのも骨折りだと...	.398**	.503**	.433**	.592**		
カ 自分は価値のない人間だと...	.281**	.592**	.442**	.553**	.478**	

問14 ふだん、あなたはお酒をどこで購入しますか (〇はいくつでも)

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 酒屋	28	9.4	9.4	
2 コンビニ	70	23.5	23.5	
3 スーパー	180	60.4	60.4	
4 ドラッグストア	34	11.4	11.4	
5 配達 (ネット等の通販など)	15	5.0	5.0	
6 自動販売機	3	1.0	1.0	
7 購入してお酒は飲まない (飲食店のみ)	14	4.7	4.7	
8 その他	11	3.7	3.7	
88 お酒は買わない	71	23.8	23.8	
有効回答計	298	100.0	100.0	
999 無回答	0	0.0		
合計	298	100.0		

その他:「旅行先など」、「カルディーのようなタイプの店」、「安売り店」、「中元、歳暮、贈り物」、「自宅」、「ドン・キホーテ」、「ディスカウントショップ」、「量販店」、「自宅で飲酒しない」、「デパート」、「自分では飲まないが家族の分」。

平均の比較 (%)

	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 酒屋	12.4	6.5	5.8	11.4	7.4	10.2
2 コンビニ	26.4	21.2	35.0	17.1	29.6	21.3
3 スーパー	57.0	62.4	60.2	60.1	51.9	63.9
4 ドラッグストア	14.9	8.2	7.8	12.4	7.4	13.0
5 配達 (ネット等の通販など)	0.8	7.6	4.9	5.2	4.9	5.1
6 自動販売機	2.5	0.0	1.0	1.0	1.2	0.9
7 購入してお酒は飲まない	5.8	4.1	7.8	3.1	9.9	2.8
8 その他	3.3	4.1	0.0	5.7	6.2	2.8
88 お酒は買わない	24.8	23.5	26.2	22.8	27.2	22.2

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1 酒屋								
2 コンビニ	.120*							
3 スーパー	.049	.271**						

4	ドラッグストア	.029	.150**	.183**			
5	配達(ネット等の通販など)	-.074	.017	-.065	-.083		
6	自動販売機	-.032	.103	.013	.175**	-.023	
7	購入してお酒は飲まない	-.071	-.123*	-.274**	-.080	.021	-.022
8	その他	-.063	-.066	-.133*	-.070	.036	-.020 .041

問15 ご自宅の浴室(お風呂)には、以下にあげる設備がついていますか(〇はいくつでも)

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 追い炊き機能	256	85.9	85.9	
2 浴室乾燥機能	143	48.0	48.0	
3 浴室暖房機能	124	41.6	41.6	
4 はっ水機能つきの床	72	24.2	24.2	
5 呼び出しボタン	186	62.4	62.4	
6 手すり	139	46.6	46.6	
7 ミストサウナ	8	2.7	2.7	
8 ジェットバス	9	3.0	3.0	
9 その他	8	2.7	2.7	
88 特別な設備はない	28	9.4	9.4	
有効回答計	298	100.0	100.0	
999 無回答	0	0.0		
合計	298	100.0		

その他:「シャワー」(2ケース)、「TV」(3ケース)、「テレビ」、「浴室TV」、「脱衣室暖房」。

平均の比較(%)

	性別		年代		婚姻	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 追い炊き機能	84.3	87.1	82.5	88.1	74.1	90.7
2 浴室乾燥機能	48.8	47.6	61.2	40.9	30.9	54.6
3 浴室暖房機能	39.7	42.9	50.5	36.8	27.2	47.2
4 はっ水機能つきの床	20.7	25.9	31.1	19.7	12.3	28.7
5 呼び出しボタン	56.2	67.6	68.0	59.6	42.0	70.4
6 手すり	40.5	52.4	44.7	47.7	34.6	50.9
7 ミストサウナ	0.8	4.1	2.9	2.6	2.5	2.8
8 ジェットバス	0.8	4.1	3.9	2.6	3.7	2.8
9 その他	2.5	2.9	1.0	3.6	1.2	3.2
88 特別な設備はない	9.9	9.4	11.7	8.3	19.8	5.6

相関係数(*有意確率5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1 追い炊き機能								
2 浴室乾燥機能	.273**							
3 浴室暖房機能	.264**	.811**						
4 はっ水機能つきの床	.184**	.431**	.398**					
5 呼び出しボタン	.462**	.413**	.402**	.325**				
6 手すり	.321**	.260**	.302**	.289**	.378**			
7 ミストサウナ	.067	.131*	.197**	.052	.086	.094		

8 ジェットバス .071 .105 -.030 .084 .096 .032 .092

問16 あなたは、入浴時に以下にあげるような過ごし方をしますか（〇はいくつでも）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 読書	28	9.4	9.4	
2 テレビやDVD をみる	19	6.4	6.4	
3 音楽をきく	18	6.0	6.1	
4 半身浴	40	13.4	13.5	
5 歌を歌う	42	14.1	14.1	
6 マッサージをする	43	14.4	14.5	
7 美容ケア	20	6.7	6.7	
8 入浴剤の使用	116	38.9	39.1	
9 携帯電話などを使用する	20	6.7	6.7	
10 シャワーのみ	70	23.5	23.6	
11 その他	10	3.4	3.4	
88 あてはまるものはない	74	24.8	24.9	
有効回答計	297	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	298	100.0		

その他：「新聞を読む」、「寝る」、「フィットネスクラブの風呂を利用している」、「ストレッチ」、「子供とおしゃべり」、「アイスを食べる」、「歯磨き」、「寝る」、「念入りに歯磨き」、「子供と遊ぶ」。

平均の比較 (%)

	性別		年代		婚姻	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 読書	3.3	13.5	13.7	6.7	16.0	7.0
2 テレビやDVD をみる	6.7	5.9	3.9	7.8	2.5	7.9
3 音楽をきく	5.0	6.5	6.9	5.2	12.3	3.7
4 半身浴	9.2	16.5	12.7	13.5	18.5	11.6
5 歌を歌う	9.2	17.6	23.5	9.3	17.3	13.0
6 マッサージをする	5.8	20.6	17.6	13.0	21.0	11.6
7 美容ケア	0.0	11.2	9.8	4.7	11.1	5.1
8 入浴剤の使用	26.7	47.6	30.4	43.5	39.5	39.1
9 携帯電話などを使用する	3.3	8.8	8.8	5.2	11.1	5.1
10 シャワーのみ	23.3	23.5	28.4	21.2	32.1	20.5
11 その他	2.5	4.1	2.9	3.6	1.2	4.2
88 あてはまるものはない	34.2	18.8	19.6	27.5	13.6	29.3

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 読書										
2 テレビやDVD...	.151**									
3 音楽をきく	.208**	-.009								
4 半身浴	.345**	.058	.148*							
5 歌を歌う	.001	-.027	.099	.066						

6	マッサーシ...	.129*	.010	.056	.090	.190**			
7	美容ケア	.235**	-.070	.157**	.091	.045	.271**		
8	入浴剤の使用	.120*	.073	.086	.210**	.071	.082	.143*	
9	携帯電話など...	.419**	.149**	.326**	.248**	.007	.119*	.142*	.088
10	シャワーのみ	-.152**	-.080	-.075	.013	-.089	-.161**	-.086	-.038

問17 あなたはよく眠るために、以下にあげる工夫をしたり、グッズを使っていますか（○は
いくつでも）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 部屋を真っ暗にする	157	52.7	52.9	
2 音楽を聴く	24	8.1	8.1	
3 お酒を飲む	29	9.7	9.8	
4 低反発マットレス	29	9.7	9.8	
5 オーダーメイドの枕	10	3.4	3.4	
6 アロマやハーブ	14	4.7	4.7	
7 遮光カーテン	83	27.9	27.9	
8 睡眠導入剤	12	4.0	4.0	
88 どれも使っていない	77	25.8	25.9	
有効回答計	297	99.7	100.0	
999 無回答	1	0.3		
合計	298	100.0		

平均の比較 (%)

	性別		年代		婚姻	
	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
1 部屋を真っ暗にする	54.2	52.4	54.4	52.1	60.5	49.8
2 音楽を聴く	6.7	8.8	11.7	6.3	12.3	6.5
3 お酒を飲む	15.8	5.9	6.8	11.5	8.6	10.2
4 低反発マットレス	12.5	7.6	9.7	9.9	9.9	9.8
5 オーダーメイドの枕	3.3	3.5	5.8	2.1	3.7	3.3
6 アロマやハーブ	1.7	7.1	5.8	4.2	9.9	2.8
7 遮光カーテン	23.3	31.8	27.2	28.1	23.5	29.8
8 睡眠導入剤	2.5	5.3	2.9	4.7	6.2	3.3
88 どれも使っていない	26.7	24.7	25.2	26.0	22.2	27.4

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1 部屋を真っ暗にする								
2 音楽を聴く	.008							
3 お酒を飲む	.038	.027						
4 低反発マットレス	.083	.069	-.070					
5 オーダーメイドの枕	-.011	-.055	-.061	.064				
6 アロマやハーブ	.083	.051	.034	.087	.047			

7 遮光カーテン	.092	-.102	.023	.098	.133*	.039	
8 睡眠導入剤	-.012	.127*	-.067	-.010	.151**	.035	.063

問18 昨日は何月何日でしたか。また、この日は以下のいずれの日でしたか(○はいくつでも)

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
6月19日	2	0.7	0.7	0.7
6月20日	75	25.2	25.3	26
6月21日	69	23.2	23.3	49.3
6月22日	42	14.1	14.2	63.5
6月23日	24	8.1	8.1	71.6
6月24日	9	3	3	74.7
6月25日	11	3.7	3.7	78.4
6月26日	6	2	2	80.4
6月27日	6	2	2	82.4
6月28日	15	5	5.1	87.5
6月29日	12	4	4.1	91.6
6月30日	8	2.7	2.7	94.3
7月1日	9	3	3	97.3
7月2日	1	0.3	0.3	97.6
7月3日	3	1	1	98.6
7月6日	1	0.3	0.3	99
7月11日	1	0.3	0.3	99.3
7月16日	1	0.3	0.3	99.7
8月8日	1	0.3	0.3	100
有効回答計	296	99.3	100	
999 無回答	2	0.7		
合計	298	100		

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 旅行・行楽	18	6.0	6.2	
2 出張・研修など	12	4.0	4.1	
3 療養	7	2.3	2.4	
4 仕事が休みの日	53	17.8	18.3	
5 いずれもあてはまらない	205	68.8	70.7	
有効回答計	290	97.3	100.0	
999 無回答	8	2.7		
合計	298	100.0		

問19 昨日の行動について30分単位で記入してください。記入例を参考に、それぞれの行動についてあてはまる時間に横線をひいてください。同時に2つ以上の行動をしている場合は、おもな行動1つについて記入してください。

		1 睡眠	2 食事、洗面、 入浴など	3 家事（育児、 介護含む）	4 仕事・学校 （通勤含む）	5 趣味（習い事、 勉強、TVなど）	6 その他	有効回答計	999 無回答	合計
0:00	人数	238	4	1	6	16	2	267	31	298
	%	79.9	1.3	0.3	2.0	5.4	0.7	89.6	10.4	100.0
	有効%	89.1	1.5	0.4	2.2	6.0	0.7	100.0		
0:30	人数	243	2	2	6	15	2	270	28	298
	%	81.5	0.7	0.7	2.0	5.0	0.7	90.6	9.4	100.0
	有効%	90.0	0.7	0.7	2.2	5.6	0.7	100.0		
1:00	人数	251	1	3	6	11	2	274	24	298
	%	84.2	0.3	1.0	2.0	3.7	0.7	91.9	8.1	100.0
	有効%	91.6	0.4	1.1	2.2	4.0	0.7	100.0		
1:30	人数	261	2	2	4	8	1	278	20	298
	%	87.6	0.7	0.7	1.3	2.7	0.3	93.3	6.7	100.0
	有効%	93.9	0.7	0.7	1.4	2.9	0.4	100.0		
2:00	人数	273	1	0	4	6	1	285	13	298
	%	91.6	0.3	0.0	1.3	2.0	0.3	95.6	4.4	100.0
	有効%	95.8	0.4	0.0	1.4	2.1	0.4	100.0		
2:30	人数	278	0	0	4	4	0	286	12	298
	%	93.3	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0	96.0	4.0	100.0
	有効%	97.2	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	100.0		
3:00	人数	277	1	1	3	4	0	286	12	298
	%	93.0	0.3	0.3	1.0	1.3	0.0	96.0	4.0	100.0
	有効%	96.9	0.3	0.3	1.0	1.4	0.0	100.0		
3:30	人数	279	1	1	3	4	0	288	10	298
	%	93.6	0.3	0.3	1.0	1.3	0.0	96.6	3.4	100.0
	有効%	96.9	0.3	0.3	1.0	1.4	0.0	100.0		
4:00	人数	276	1	0	5	5	0	287	11	298
	%	92.6	0.3	0.0	1.7	1.7	0.0	96.3	3.7	100.0
	有効%	96.2	0.3	0.0	1.7	1.7	0.0	100.0		
4:30	人数	274	1	1	8	3	0	287	11	298
	%	91.9	0.3	0.3	2.7	1.0	0.0	96.3	3.7	100.0
	有効%	95.5	0.3	0.3	2.8	1.0	0.0	100.0		
5:00	人数	250	16	11	8	2	0	287	11	298
	%	83.9	5.4	3.7	2.7	0.7	0.0	96.3	3.7	100.0
	有効%	87.1	5.6	3.8	2.8	0.7	0.0	100.0		
5:30	人数	219	32	21	12	4	0	288	10	298
	%	73.5	10.7	7.0	4.0	1.3	0.0	96.6	3.4	100.0
	有効%	76.0	11.1	7.3	4.2	1.4	0.0	100.0		
6:00	人数	160	67	36	19	3	3	288	10	298
	%	53.7	22.5	12.1	6.4	1.0	1.0	96.6	3.4	100.0
	有効%	55.6	23.3	12.5	6.6	1.0	1.0	100.0		
6:30	人数	110	72	52	36	8	8	286	12	298
	%	36.9	24.2	17.4	12.1	2.7	2.7	96.0	4.0	100.0
	有効%	38.5	25.2	18.2	12.6	2.8	2.8	100.0		
7:00	人数	70	82	68	57	6	7	290	8	298
	%	23.5	27.5	22.8	19.1	2.0	2.3	97.3	2.7	100.0

	有効%	24.1	28.3	23.4	19.7	2.1	2.4	100.0		
7:30	人数	50	74	70	71	15	7	287	11	298
	%	16.8	24.8	23.5	23.8	5.0	2.3	96.3	3.7	100.0
	有効%	17.4	25.8	24.4	24.7	5.2	2.4	100.0		
8:00	人数	27	55	69	94	25	15	285	13	298
	%	9.1	18.5	23.2	31.5	8.4	5.0	95.6	4.4	100.0
	有効%	9.5	19.3	24.2	33.0	8.8	5.3	100.0		
8:30	人数	20	36	70	111	29	18	284	14	298
	%	6.7	12.1	23.5	37.2	9.7	6.0	95.3	4.7	100.0
	有効%	7.0	12.7	24.6	39.1	10.2	6.3	100.0		
9:00	人数	18	13	62	128	40	26	287	11	298
	%	6.0	4.4	20.8	43.0	13.4	8.7	96.3	3.7	100.0
	有効%	6.3	4.5	21.6	44.6	13.9	9.1	100.0		
9:30	人数	15	12	55	130	46	30	288	10	298
	%	5.0	4.0	18.5	43.6	15.4	10.1	96.6	3.4	100.0
	有効%	5.2	4.2	19.1	45.1	16.0	10.4	100.0		
10:00	人数	12	13	45	130	53	35	288	10	298
	%	4.0	4.4	15.1	43.6	17.8	11.7	96.6	3.4	100.0
	有効%	4.2	4.5	15.6	45.1	18.4	12.2	100.0		
10:30	人数	11	10	44	135	52	35	287	11	298
	%	3.7	3.4	14.8	45.3	17.4	11.7	96.3	3.7	100.0
	有効%	3.8	3.5	15.3	47.0	18.1	12.2	100.0		
11:00	人数	10	16	37	136	51	37	287	11	298
	%	3.4	5.4	12.4	45.6	17.1	12.4	96.3	3.7	100.0
	有効%	3.5	5.6	12.9	47.4	17.8	12.9	100.0		
11:30	人数	9	23	39	135	47	34	287	11	298
	%	3.0	7.7	13.1	45.3	15.8	11.4	96.3	3.7	100.0
	有効%	3.1	8.0	13.6	47.0	16.4	11.8	100.0		
12:00	人数	6	88	23	107	32	26	282	16	298
	%	2.0	29.5	7.7	35.9	10.7	8.7	94.6	5.4	100.0
	有効%	2.1	31.2	8.2	37.9	11.3	9.2	100.0		
12:30	人数	6	72	32	110	36	28	284	14	298
	%	2.0	24.2	10.7	36.9	12.1	9.4	95.3	4.7	100.0
	有効%	2.1	25.4	11.3	38.7	12.7	9.9	100.0		
13:00	人数	7	34	35	131	41	37	285	13	298
	%	2.3	11.4	11.7	44.0	13.8	12.4	95.6	4.4	100.0
	有効%	2.5	11.9	12.3	46.0	14.4	13.0	100.0		
13:30	人数	8	23	39	136	39	41	286	12	298
	%	2.7	7.7	13.1	45.6	13.1	13.8	96.0	4.0	100.0
	有効%	2.8	8.0	13.6	47.6	13.6	14.3	100.0		
14:00	人数	13	14	37	137	41	43	285	13	298
	%	4.4	4.7	12.4	46.0	13.8	14.4	95.6	4.4	100.0
	有効%	4.6	4.9	13.0	48.1	14.4	15.1	100.0		
14:30	人数	13	7	33	138	49	44	284	14	298
	%	4.4	2.3	11.1	46.3	16.4	14.8	95.3	4.7	100.0
	有効%	4.6	2.5	11.6	48.6	17.3	15.5	100.0		
15:00	人数	11	7	34	135	50	46	283	15	298
	%	3.7	2.3	11.4	45.3	16.8	15.4	95.0	5.0	100.0
	有効%	3.9	2.5	12.0	47.7	17.7	16.3	100.0		
15:30	人数	9	8	38	132	51	46	284	14	298

	%	3.0	2.7	12.8	44.3	17.1	15.4	95.3	4.7	100.0
	有效%	3.2	2.8	13.4	46.5	18.0	16.2	100.0		
16:00	人数	8	5	47	130	53	40	283	15	298
	%	2.7	1.7	15.8	43.6	17.8	13.4	95.0	5.0	100.0
	有效%	2.8	1.8	16.6	45.9	18.7	14.1	100.0		
16:30	人数	7	5	54	127	51	39	283	15	298
	%	2.3	1.7	18.1	42.6	17.1	13.1	95.0	5.0	100.0
	有效%	2.5	1.8	19.1	44.9	18.0	13.8	100.0		
17:00	人数	7	15	61	124	41	34	282	16	298
	%	2.3	5.0	20.5	41.6	13.8	11.4	94.6	5.4	100.0
	有效%	2.5	5.3	21.6	44.0	14.5	12.1	100.0		
17:30	人数	7	25	63	118	35	33	281	17	298
	%	2.3	8.4	21.1	39.6	11.7	11.1	94.3	5.7	100.0
	有效%	2.5	8.9	22.4	42.0	12.5	11.7	100.0		
18:00	人数	3	54	62	97	39	26	281	17	298
	%	1.0	18.1	20.8	32.6	13.1	8.7	94.3	5.7	100.0
	有效%	1.1	19.2	22.1	34.5	13.9	9.3	100.0		
18:30	人数	4	66	62	84	41	22	279	19	298
	%	1.3	22.1	20.8	28.2	13.8	7.4	93.6	6.4	100.0
	有效%	1.4	23.7	22.2	30.1	14.7	7.9	100.0		
19:00	人数	3	91	51	69	49	18	281	17	298
	%	1.0	30.5	17.1	23.2	16.4	6.0	94.3	5.7	100.0
	有效%	1.1	32.4	18.1	24.6	17.4	6.4	100.0		
19:30	人数	3	86	51	62	63	16	281	17	298
	%	1.0	28.9	17.1	20.8	21.1	5.4	94.3	5.7	100.0
	有效%	1.1	30.6	18.1	22.1	22.4	5.7	100.0		
20:00	人数	4	83	45	39	85	24	280	18	298
	%	1.3	27.9	15.1	13.1	28.5	8.1	94.0	6.0	100.0
	有效%	1.4	29.6	16.1	13.9	30.4	8.6	100.0		
20:30	人数	7	74	31	37	99	32	280	18	298
	%	2.3	24.8	10.4	12.4	33.2	10.7	94.0	6.0	100.0
	有效%	2.5	26.4	11.1	13.2	35.4	11.4	100.0		
21:00	人数	20	52	28	27	123	29	279	19	298
	%	6.7	17.4	9.4	9.1	41.3	9.7	93.6	6.4	100.0
	有效%	7.2	18.6	10.0	9.7	44.1	10.4	100.0		
21:30	人数	27	49	25	25	127	26	279	19	298
	%	9.1	16.4	8.4	8.4	42.6	8.7	93.6	6.4	100.0
	有效%	9.7	17.6	9.0	9.0	45.5	9.3	100.0		
22:00	人数	49	49	22	19	117	23	279	19	298
	%	16.4	16.4	7.4	6.4	39.3	7.7	93.6	6.4	100.0
	有效%	17.6	17.6	7.9	6.8	41.9	8.2	100.0		
22:30	人数	65	43	20	15	112	24	279	19	298
	%	21.8	14.4	6.7	5.0	37.6	8.1	93.6	6.4	100.0
	有效%	23.3	15.4	7.2	5.4	40.1	8.6	100.0		
23:00	人数	112	44	17	11	75	22	281	17	298
	%	37.6	14.8	5.7	3.7	25.2	7.4	94.3	5.7	100.0
	有效%	39.9	15.7	6.0	3.9	26.7	7.8	100.0		
23:30	人数	157	32	12	9	54	17	281	17	298
	%	52.7	10.7	4.0	3.0	18.1	5.7	94.3	5.7	100.0
	有效%	55.9	11.4	4.3	3.2	19.2	6.0	100.0		

問20 あなたは現在、結婚していますか（○は1つ）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 結婚している	216	72.5	72.7	72.7
2 今は結婚していない（離別、死別した）	18	6.0	6.1	78.8
3 これまで結婚したことがない	63	21.1	21.2	100.0
有効回答計	297	99.7	100.0	
999 無回答	1	.3		
合計	298	100.0		

平均の比較（%）

	性別		年代		婚姻状況	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 結婚している	72.5	71.8	54.4	82.3	0.0	100.0
2 結婚していない（離別、死別）	5.0	7.1	3.9	7.3	22.2	0.0
3 これまで結婚したことがない	22.5	21.2	41.7	10.4	77.8	0.0

問21 あなたには現在、以下の人が何人いますか（○はそれぞれ1つ）

ア) あなたを除いて同居（1人暮らしは0）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 0人（1人暮らし）	30	10.1	10.3	10.3
1 1人	67	22.5	23.0	33.3
2 2人	83	27.9	28.5	61.9
3 3人	80	26.8	27.5	89.3
4 4人	21	7.0	7.2	96.6
5 5人	6	2.0	2.1	98.6
6 6人	3	1.0	1.0	99.7
7 7人	0	0.0	0.0	99.7
8 8人以上	1	.3	.3	100.0
有効回答計	291	97.7	100.0	
999 無回答	7	2.3		
合計	298	100.0		

イ) 同居している10歳以下の子供

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 0人	218	73.2	74.7	74.7
1 1人	40	13.4	13.7	88.4
2 2人	29	9.7	9.9	98.3
3 3人	5	1.7	1.7	100.0
4 4人	0	0.0	0.0	100.0
5 5人	0	0.0	0.0	100.0
6 6人	0	0.0	0.0	100.0
7 7人	0	0.0	0.0	100.0

8 8人以上	0	0.0	0.0	100.0
有効回答計	292	98.0	292	
999 無回答	6	2.0	6	
合計	298	100.0	298	

ウ) あなたの子供 (別居含む)

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 0人	103	34.6	35.3	35.3
1 1人	63	21.1	21.6	56.8
2 2人	94	31.5	32.2	89.0
3 3人	30	10.1	10.3	99.3
4 4人	2	.7	.7	100.0
5 5人	0	0.0	0.0	100.0
6 6人	0	0.0	0.0	100.0
7 7人	0	0.0	0.0	100.0
8 8人以上	0	0.0	0.0	100.0
有効回答計	292	98.0	100.0	
999 無回答	6	2.0		
合計	298	100.0		

エ) 介護を必要とする同居している家族

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 0人	273	91.6	94.5	94.5
1 1人	16	5.4	5.5	100.0
2 2人	0	0.0	0.0	100.0
3 3人	0	0.0	0.0	100.0
4 4人	0	0.0	0.0	100.0
5 5人	0	0.0	0.0	100.0
6 6人	0	0.0	0.0	100.0
7 7人	0	0.0	0.0	100.0
8 8人以上	0	0.0	0.0	100.0
有効回答計	289	97.0	100.0	
999 無回答	9	3.0		
合計	298	100.0		

平均の比較 (人)

	男性	女性	30代 以下	40代 以上	未婚	既婚
ア あなたを除いて同居	1.89	2.24	2.06	2.13	1.37	2.38
イ 同居している10歳以下の子供	0.37	0.40	0.69	0.21	0.04	0.52
ウ あなたの子供 (別居含む)	1.07	1.25	0.73	1.45	0.28	1.54
エ 介護を必要とする同居家族	0.07	0.05	0.00	0.09	0.06	0.05

相関係数 (*有意確率 5%未満、**1%未満)

	ア	イ	ウ	エ
ア あなたを除いて同居				
イ 同居している10歳以下の子供	.415**			

ウ あなたの子供（別居含む）	.481**	.363**	
エ 介護を必要とする同居家族	.058	-.057	-.028

問22 あなたは現在どなたと一緒に住んでいますか（○は義理の方も含めてあてはまる方すべて）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 夫または妻	210	70.5	71.2	
2 子供	164	55.0	55.6	
3 父母	61	20.5	20.7	
4 兄弟姉妹	17	5.7	5.8	
5 祖父母	5	1.7	1.7	
6 孫	0	0.0	0.0	
7 恋人	4	1.3	1.4	
8 一人暮らし	30	10.1	10.2	
9 その他	8	2.7	2.7	
有効回答計	295	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	298	100.0		

その他：「内縁」（2ケース）、「犬」（2ケース）、「館生」、「姑」、「友人」具体的記述なし2ケース。

平均の比較（%）

	性別		世代		婚姻	
	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
1 夫または妻	71.7	69.6	53.9	80.1	0.0	97.7
2 子供	50.0	59.5	44.1	61.8	11.3	72.1
3 父母	17.5	23.2	28.4	16.8	42.5	12.6
4 兄弟姉妹	4.2	7.1	15.7	0.5	20.0	0.5
5 祖父母	1.7	1.8	4.9	0.0	6.3	0.0
6 孫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 恋人	1.7	1.2	2.9	0.5	5.0	0.0
8 一人暮らし	15.0	7.1	17.6	6.3	37.5	0.0
9 その他	2.5	2.4	2.0	3.1	3.8	2.3

相関係数（*有意確率 5%未満、**1%未満）

	1	2	3	4	5	6	7
1 夫または妻							
2 子供	.501**						
3 父母	-.340**	-.234**					
4 兄弟姉妹	-.389**	-.247**	.448**				
5 祖父母	-.206**	-.147*	.257**	.531**			
6 孫	---	---	---	---	---		
7 恋人	-.184**	-.131*	-.060	-.029	-.015	---	

問23 あなたは小学校に入学する頃前までに、以下のような経験をしましたか（○はそれぞれ1つ）

ア) 父親と外（公園、レジャー施設など）で遊ぶ

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 まったくなかった	34	11.4	11.6	11.6
1 ほとんどなかった	70	23.5	23.8	35.4
2 たまにあった	121	40.6	41.2	76.5
3 よくあった	69	23.2	23.5	100.0
有効回答計	294	98.7	100.0	
999 無回答	4	1.3		
合計	298	100.0		

イ) 母親と外（公園、レジャー施設など）で遊ぶ

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
0 まったくなかった	23	7.7	7.8	7.8
1 ほとんどなかった	59	19.8	20.1	28.0
2 たまにあった	133	44.6	45.4	73.4
3 よくあった	78	26.2	26.6	100.0
有効回答計	293	98.3	100.0	
999 無回答	5	1.7		
合計	298	100.0		

平均の比較

	男性	女性	30代以下	40代以上	未婚	既婚
ア 父親と外で遊ぶ	1.77	1.77	2.14	1.56	2.01	1.67
イ 母親と外で遊ぶ	1.86	1.96	2.33	1.68	2.16	1.81

相関係数（*有意確率 5%未満、**1%未満）

	ア	イ
ア 父親と外で遊ぶ		
イ 母親と外で遊ぶ	.606**	

問24 あなたが通った学校に、すべて○をつけてください（中退、通学中も）（○はいくつでも）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 中学校	296	99.3	100.0	
2 高校	283	95.0	95.6	
3 短大	37	12.4	12.5	
4 大学	138	46.3	46.6	
5 大学院	6	2.0	2.0	
6 専門学校	61	20.5	20.6	
7 その他	6	2.0	2.0	
有効回答計	296	99.3	100.0	

999 無回答	2	0.7
合計	298	100.0

その他：「ヘルパー学校」、「イギリス語学学校」、「高専」、「放送大学」、「高等専門学校」、「資格学校」。

問25 あなたの父親が通った学校に、すべて〇をつけてください（中退も）（〇はいくつでも）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 中学校、旧制小学校	290	97.3	100.0	
2 高校、旧制中学校	200	67.1	69.0	
3 短大	2	.7	.7	
4 大学、旧制高校	105	35.2	36.2	
5 大学院、旧制大学	11	3.7	3.8	
6 専門学校	11	3.7	3.8	
7 その他	4	1.3	1.4	
有効回答計	290	97.3	100.0	
999 無回答	8	2.7		
合計	298	100.0		

その他：「わからない」、「通信教育」、「尋常小学校」、「師範学校」、「知らない」（2ケース）、「盲学校」。

問26 過去1年間で、あなたのお宅の収入は、税込みでいくぐらいでしたか。他の家族分もふくめてください（年金、株式配当、臨時収入、副収入なども）（〇は1つ）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 なし	3	1.0	1.0	1.0
2 1~199万円	12	4.0	4.2	5.2
3 200~399万円	33	11.1	11.5	16.8
4 400~599万円	61	20.5	21.3	38.1
5 600~799万円	69	23.2	24.1	62.2
6 800~999万円	47	15.8	16.4	78.7
7 1000~1199万円	32	10.7	11.2	89.9
8 1200~1399万円	12	4.0	4.2	94.1
9 1400~1599万円	6	2.0	2.1	96.2
10 1600万円以上	11	3.7	3.8	100.0
有効回答計	286	96.0	100.0	
999 無回答	12	4.0		
合計	298	100.0		

問27 あなたは現在、どのような形で働いていますか（○は1つ）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 自営業主、自由業者、家族従業員、内職	38	12.8	12.9	12.9
2 公務員、正社員	99	33.2	33.6	46.4
3 派遣社員	6	2.0	2.0	48.5
4 契約社員、嘱託社員	23	7.7	7.8	56.3
5 パート、アルバイト、臨時雇用	50	16.8	16.9	73.2
6 その他	4	1.3	1.4	74.6
88 仕事をしていない（専業主婦、学生、無職）	75	25.2	25.4	100.0
有効回答計	295	99.0	100.0	
999 無回答	3	1.0		
合計	298	100.0		

その他：「求職者支援訓練受講中」、「運送業」、「作業所」、「福祉作業所」。

問28 あなたの現在の仕事について、以下のことが当てはまりますか（○はいくつでも）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 役職が課長相当である	28	9.4	9.6	
2 役職が部長、役員、社長、理事相当である	25	8.4	8.5	
3 勤め先の従業員が、自分1人だけだ	8	2.7	2.7	
4 勤め先の従業員が、30人以上いる（支社含む）	134	45.0	45.7	
5 勤め先の従業員が、300人以上いる（支社含む）	73	24.5	24.9	
88 どれも当てはまらない	54	18.1	18.4	
89 現在仕事をしていない	75	25.2	25.6	
有効回答計	293	98.3	100.0	
999 無回答	5	1.7		
合計	298	100.0		

問29 あなたは現在、どのような仕事をしていますか（小学校教員、おもちゃの組み立て、車の修理、バスの運転手、経理の事務員、営業、本屋の店員、ファミレスのウェ이터など具体的に）

省略

問30 では、学校を卒業してから最初の仕事で、どのような仕事をしましたか（具体的に）

省略

問31 そのとき、どのような形で働いていましたか（〇は1つ）

単純集計表

	人数	%	有効%	累積%
1 自営業主、自由業者、家族従業員、内職	9	3.0	3.1	3.1
2 公務員、正社員	234	78.5	81.3	84.4
3 派遣社員	3	1.0	1.0	85.4
4 契約社員、嘱託社員	10	3.4	3.5	88.9
5 パート、アルバイト、臨時雇用	21	7.0	7.3	96.2
6 その他	6	2.0	2.1	98.3
88 就職しなかった（専業主婦、学生、無職）	5	1.7	1.7	100.0
有効回答計	288	96.6	100.0	
999 無回答	10	3.4		
合計	298	100.0		

その他：「福祉作業所」、「見習い」、「学校通学および見習い」、「障害者のため特別な身分なし」、「準社員」、「フリー」、具体的記述なし1ケース。

自由記述の有無

	人数	%	有効%	累積%
0 なし	266	89.3	89.3	89.3
1 あり	32	10.7	10.7	100.0
合計	298	100.0	100.0	

資料 B 自由回答

明らかな誤字以外は、原文のままとなっています。ただし、プライバシーに関わる部分は除いてあります。

1 この調査について

- ・ 88と言う番号はわかりにくいです（まぎらはしいです）12でも13でも良いのでは！（60代、女性）
- ・ このような、かなり細かい事情を聞き、何に役立つのでしょうか？（50代、女性）
- ・ 個人情報を漏らさないようにお願いします。（40代、女性）
- ・ 解答の範囲に入らない答の多い設問と思う。（60代、女性）
- ・ 興味深くおもしろかったです。（30代、男性）
- ・ アンケートで何を把握しようとしているのかを具体的に表記して下さい（60代、男性）
- ・ アンケートの設問内容や順序にやや脈略がない。（例）問 5,20,27 など重複感がある。問 1,2,5,20～31 は冒頭で聞いたほうがいい。また、少し「カラオケ」「映画」「飲酒」「睡眠」「入浴」に偏っている気がします。また HP 上には 2006,2007 年の報告書のみ掲載されていますが、すべての調査についての報告を掲載すべきではないでしょうか。今回の西東京市についての報告書は楽しみにしています。がんばって考察してください。（40代、男性）
- ・ 図書カードとボールペン、ありがとうございました♪「書こう」という気持ちになりました。（20代、女性）
- ・ 趣味、レジャー＝カラオケ・映画の設定であるなら、該当しません。（30代、男性）
- ・ 今回、このようなアンケートが初めて送られてきて、最初はおどろきました。なので、次回アンケートを取ることがありましたら、アンケートを送る前に一度はがきでアンケートを送ってもいいかを聞いて頂けると、安心してアンケートに答えられると思います。（30代、女性）
- ・ アンケートに学歴は必要かとも、でもあまり気持的には（60代、女性）
- ・ たったこれだけのアンケートで暮らしについての考えや、生活の多様性が明らかになるとは到底考えられませんが…？（60代、女性）
- ・ 貴重な経験をさせていただき、又、お礼までいただき、ありがとうございました。西東京市の人々が何を思い暮らしているのか、結果が楽しみです。（40代、男性）
- ・ プライベートなことはかけません。後半は無回答で。（30代、女性）
- ・ どのようにして本人が抽出されたのかをアンケート用紙にあらかじめ記入してほしい（50代、男性）
- ・ 国や自治体のアンケートより気軽に回答できる感じがして面白く思いました。（30代、男性）

- ・ テレカとボールペン御丁寧にありがとうございます（40代、女性）
- ・ この様な体験をしたことがなかったので楽しく回答させて頂きました。少しでも役に立てれば幸いです。（20代、女性）
- ・ 図書カード有り難うございました。（40代、男性）
- ・ 料金が50円不足していました。何故??返信用封筒は140円なのに…。ちゃんと計算してから送るようにして下さい。（20代、女性）
- ・ 主人の名前でアンケート用紙がきましたので記入しましたが、私も記入したかったです。×切過ぎて申し訳ありません。（50代、男性）
- ・ 図書カード、ありがとうございました。子供に絵本を買います。（30代、女性）

2 成蹊大学について

- ・ 関東バスで通勤していますが、成蹊小学校の子供たちのポスターはとても良いですね。気持ちが良いです。お礼を伝えてください。（50代、女性）
- ・ 成蹊大学の他大学にない強みや特色をどんどんPRして下さい（40代、男性）
- ・ 成蹊大学には長女が通っていたが、マンモス大学にはない良さがありよかったと思っております。（60代、男性）
- ・ 良い学校だと思います。お金持ちのいく大学というイメージです。（40代、男性）


3 その他

- ・ 健康になる為に行っている事、好きな芸能人のコンサートに行くかどうか?これからの経済、社会保障制度、年金について（20代、女性）
- ・ <暮らしについての不満>、ゴミ袋が有料、幼稚園の補助が少ない（20代、女性）
- ・ おもしろかったです。愛情にうえていの方が多いと思いますので、このデータを反映していただき「つながり」を期待します！ありがとうございました。（30代、男性）
- ・ このアンケート（研究）が西東京市民の暮らしにう役立つのか知りたいです。（多様性が明らかになると暮らしが何か変わるのか）（30代、女性）
- ・ 御返事遅くなり申し訳ありませんでした。（50代、男性）

・ 資料 C 調査票

注意：実際の調査票は A4 判であった。右端を 4 ミリほどずらして印刷して、めくりやすくした。

成蹊大学アンケート管理番号 SK2013-001

	成蹊大学社会調査士課程室 代表 文学部准教授 <small>こばやしけん</small> 小林 盾
	(保谷小学校、ひばりが丘中学校卒業、1968年3月生まれ)
	調査実施 成蹊大学社会調査士課程室 助手 <small>かがわ</small> 香川 めい
Tel 0422-37-3972 月曜、水曜、木曜 13~17時	

■このアンケートの目的は？

- 西東京市民のみなさんが、暮らしについてどのようにお考えかを調べています。回答を集計することで、人びとの生活の多様性を明らかにします。
- 2009年に始まり、5回目になります。成蹊大学「社会調査演習」という授業の一環として行っています。強制ではありませんが、どうかご理解のうえご協力をお願いいたします。
- お礼として図書カードとボールペンを同封しました。ご利用ください。

■どうして私が選ばれたのですか？

- アンケート対象者のみなさんは、22歳から69歳までの西東京市民500人です。
- 市役所に選挙人名簿の閲覧申請をしましたところ、公職選挙法第28条の3に基づいて許可されました。「プライバシーに関わる個人情報は決して漏らさない」という誓約書を提出したうえで、「何人おき」という形で個人を選びました。

■私のプライバシー保護はどうなっていますか？

- みなさんのプライバシーは、個人情報保護法に基づいて厳重に管理します。
- 対象者リストと回答用紙は、アンケートが終わりしだいシュレッダーで廃棄します。

■どのように回答と返送をすればよいですか？

- 回答は10分ほどです。宛て名のご本人様が回答ください。数字に「〇」をつけてください

例

①	ある
2	ない

ある	ない
1	②

- 返信用封筒に入れてお送りください。差出人住所・氏名は記入しないでください。

恐れいりますが、7月1日（月）までにご返送ください

■アンケート結果はどのように公開されるのですか？

- 2014年3月ごろ報告書として公開します。市役所、市内図書館にも提出します。
- これまでの報告書は、成蹊大学図書館、成蹊大学ホームページなどでご覧いただけます。

あなたと西東京市との関わりについて、おたずねします

問1 まず、あなたの性別と年齢を、お聞かせください（〇はそれぞれ1つ）

1 男	0 女
-----	-----

2 20代	3 30代	4 40代	5 50代	6 60代
-------	-------	-------	-------	-------

問2 あなたには、以下のことが当てはまりますか（〇はいくつでも）

1 西東京市に住んでいることに、満足している	3 西東京市に、成人する前から住んでいる
2 西東京市に、生まれたころから住んでいる	88 どれも当てはまらない

問3 保谷こもれびホール（保谷庁舎に隣接）では、2か月に一度映画が上映されています。こもれびホールでの映画上映に行ったことはありますか（〇は1つ）

1 毎回必ず行く	3 上映していることは知っているが行ったことはない
2 みたい映画の上映であれば行く	4 映画を上映をしていることを知らない

あなたのふだんの生活について、おたずねします

問4 暮らしについての以下の意見についてどう思いますか（〇はそれぞれ1つ）

	そう 思わない	どちらかと いえばそう 思わない	どちらかと いえば そう思う	そう 思う
ア) 人々間の格差は、今より少なくなるべきだ	1	2	3	4
イ) 男は外で働き、女は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
ウ) 妻と夫は同一の姓を名乗るべきだ	1	2	3	4
エ) 小学校に上がる前の子供の母親が仕事を持つのは子供によくない影響を与える	1	2	3	4
オ) 子供が3歳くらいまでの間は、保育所等を利用せずに親が子供の世話をすべきだ	1	2	3	4

問5 あなたには、以下のことが当てはまりますか（〇はいくつでも）

1 現在、フルタイムの仕事をしている	4 現在、配偶者がいる
2 現在、パートの仕事をしている	88 どれも当てはまらない
3 現在、アルバイトをしている	

問6 あなたは過去1年間に国内外旅行や出張（いずれも1泊以上）に何回くらい行きましたか

ア) 国内出張（仕事で）		回くらい	0	行っていない
イ) 国内旅行（仕事以外で）		回くらい	0	行っていない
ウ) 海外出張（仕事で）		回くらい	0	行っていない
エ) 海外旅行（仕事以外で）		回くらい	0	行っていない

問7 過去1年間に出張以外の旅行（1泊以上）にだれかと一緒に行きましたか（〇はいくつでも）

	友人	恋人	配偶者	配偶者以外の家族	同僚	1人	その他	行っていない
ア)国内旅行	1	2	3	4	5	6	7	88
イ)海外旅行	1	2	3	4	5	6	7	88

問8 あなたはこの5年間で以下のことをどのくらいしましたか（〇はそれぞれ1つ）

	週1回以上	月1回以上	年数回くらい	年1回くらい	数年に1回	ほとんどない
ア) カラオケ（スナックや自宅含む）	5	4	3	2	1	0
ウ) 映画館で映画を見る	5	4	3	2	1	0

問9 以下にあげる人と映画館に行くとき、もっとも重視する条件は何ですか（〇はそれぞれ1つ）

	時間	場所	設備サービス	映画の内容	その他	そのような人と行ったことはない
ア) 恋人や配偶者	1	2	3	4	5	88
イ) 配偶者を除く家族	1	2	3	4	5	88
ウ) 友人	1	2	3	4	5	88
エ) 1人	1	2	3	4	5	88

問10 カラオケボックスに行く目的は何ですか（〇はいくつでも）

1 歌うことを楽しむため	4 つきあいや接待のため	7 歌わずおしゃべりするため
2 ストレス発散のため	5 歌の練習をするため	8 その他（ ）
3 友人と交流するため	6 食事をするため	88 カラオケボックスには行かない

問11 ふだん、あなたはどんな種類のお酒を飲みますか（〇はいくつでも）

1 ビール	4 焼酎	7 ハイボール	10 果実酒
2 発泡酒	5 ワイン	8 カクテル	11 その他
3 日本酒	6 ウィスキー（ハイボール除く）	9 酎ハイ	88 飲酒しない

あなたの健康について、おたずねします

問12 眠ることについて、あなたには以下のことがあてはまりますか（〇はいくつでも）

1 寝つきが悪い	4 寝ても疲れがとれない	7 よく寝違える
2 すっきり起きられない	5 眠りが浅い	8 その他（具体的に）
3 いびきをかく	6 手足が冷える	88 どれも当てはまらない

問13 この1か月の間に、次のことをどのくらいよく感じましたか（〇はそれぞれ1つ）

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
ア) 神経過敏に感じる事	1	2	3	4	5
イ) 絶望的だと感じる事	1	2	3	4	5
ウ) そわそわ、落ち着かなく感じる事	1	2	3	4	5
エ) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じる事	1	2	3	4	5
オ) 何をするのも骨折りだと感じる事	1	2	3	4	5
カ) 自分は価値のない人間だと感じる事	1	2	3	4	5

あなたのご自宅での過ごし方について、おたずねします

問14 ふだん、あなたはお酒をどこで購入しますか（〇はいくつでも）

1 酒屋	4 ドラッグストア	7 購入してお酒は飲まない（飲食店のみ）
2 コンビニ	5 配達（ネット等の通販など）	8 その他（）
3 スーパー	6 自動販売機	88 お酒は買わない

問15 ご自宅の浴室（お風呂）には、以下にあげる設備がついていますか（〇はいくつでも）

1 追い炊き機能	4 はっ水機能つきの床	7 ミストサウナ	9 その他（具体的に）
2 浴室乾燥機能	5 呼び出しボタン	8 ジェットバス	
3 浴室暖房機能	6 手すり	88 特別な設備はない	

問16 あなたは、入浴時に以下にあげるような過ごし方をしますか（〇はいくつでも）

1 読書	5 歌を歌う	9 携帯電話などを使用する
2 テレビやDVDをみる	6 マッサージをする	10 シャワーのみ
3 音楽をきく	7 美容ケア	11 その他（具体的に）
4 半身浴	8 入浴剤の使用	88 あてはまるものはない

問17 あなたはよく眠るために、以下にあげる工夫をしたり、グッズを使っていますか

(〇はいくつでも)

1 部屋を真っ暗にする	4 低反発マットレス	7 遮光カーテン	88 どれも使っていない
2 音楽を聴く	5 オーダーメイドの枕	8 睡眠導入剤	
3 お酒を飲む	6 アロマやハーブ		

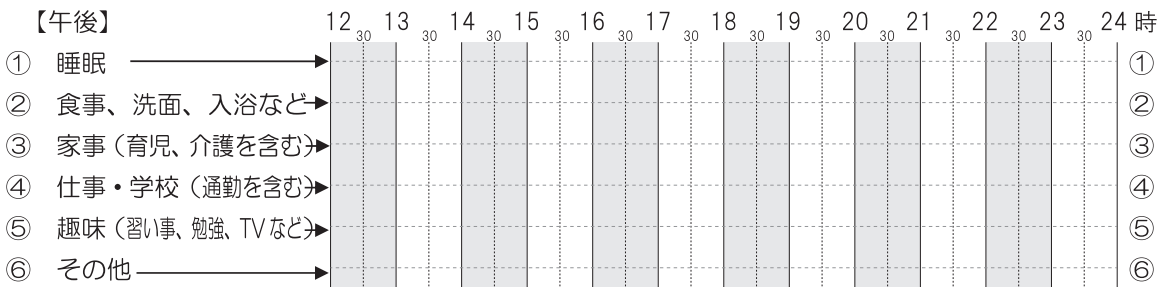
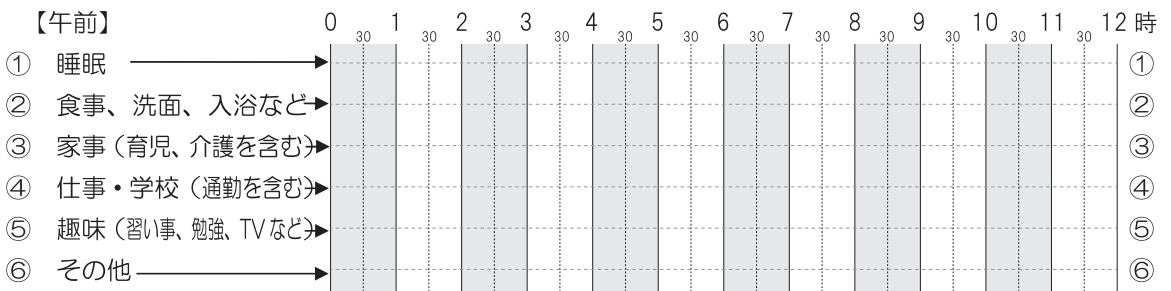
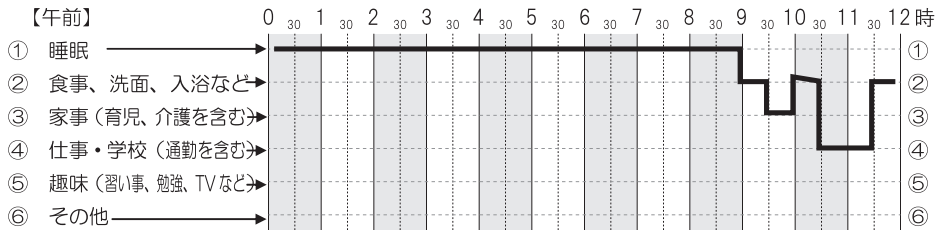
昨日の過ごし方について、おたずねします

問18 昨日は何月何日でしたか。また、この日は以下のいずれの日でしたか (〇はいくつでも)

	月		日	1 旅行・行楽	3 療養	5 いずれもあてはまらない
				2 出張・研修など	4 仕事が休みの日	

問19 昨日の行動について 30 分単位で記入してください。記入例を参考に、それぞれの行動についてあてはまる時間に横線をひいてください。同時に2つ以上の行動をしている場合は、おもな行動1つについて記入してください。

<記入例> 午前9時に起床し、朝食に30分、家事に30分、身じたくに30分かけた。その後、10時半から仕事にでかけ、午前11時半頃から早めの昼食を取った。



あなたの家族について、おたずねします

問20 あなたは現在、結婚していますか（○は1つ）

1 結婚している	3 これまで結婚したことがない
2 今は結婚していない（離別、死別した）	

問21 あなたには現在、以下の人が何人いますか（○はそれぞれ1つ）

ア) <u>あなたを除いて同居</u> （1人暮らしは0）	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	人
イ) 同居している10歳以下の子供	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	人
ウ) あなたの <u>子供</u> （別居含む）	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	人
エ) 介護を必要とする同居している家族	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	人

問22 あなたは現在どなたと一緒にお住まいですか（○は義理の方も含めてあてはまる方すべて）

1 夫または妻	4 兄弟姉妹	7 恋人
2 子供	5 祖父母	8 一人暮らし
3 父母	6 孫	9 その他（具体的に ）

問23 あなたは小学校に入学する頃前までに、以下のような経験をしましたか（○はそれぞれ1つ）

	よく あった	たまに あった	ほとんど なかった	まったく なかった
ア) 父親と外（公園、レジャー施設など）で遊ぶ	3	2	1	0
イ) 母親と外（公園、レジャー施設など）で遊ぶ	3	2	1	0

アンケート整理のために、あなたご自身についておたずねします

問24 あなたが通った学校に、すべて○をつけてください（中退、通学中も）（○はいくつでも）

1 中学校	3 短大	5 大学院	7 その他（具体的 に ）
2 高校	4 大学	6 専門学校	

問25 あなたの父親が通った学校に、すべて○をつけてください（中退も）（○はいくつでも）

1 中学校、旧制小学校	3 短大	5 大学院、旧制大学	7 その他（具体的 に ）
2 高校、旧制中学校	4 大学、旧制高校	6 専門学校	

問26 過去1年間で、あなたのお宅の収入は、税込みでいくらぐらいでしたか。他の家族分もふくめてください（年金、株式配当、臨時収入、副収入なども）（○は1つ）

1 なし	4 400～599万円	7 1000～1199万円	10 1600万円以上
2 1～199万円	5 600～799万円	8 1200～1399万円	
3 200～399万円	6 800～999万円	9 1400～1599万円	

問27 あなたは現在、どのような形で働いていますか（○は1つ）

1 自営業主、自由業者、家族従業員、内職	5 パート、アルバイト、臨時雇用
2 公務員、正社員	6 その他（具体的に）
3 派遣社員	
4 契約社員、嘱託社員	88 仕事をしていない（専業主婦、学生、無職）

問28 あなたの現在の仕事について、以下のことが当てはまりますか（○はいくつでも）

1 役職が課長相当である	5 勤め先の従業員が、300人以上いる（支社含む）
2 役職が部長、役員、社長、理事相当である	
3 勤め先の従業員が、自分1人だけだ	88 どれも当てはまらない
4 勤め先の従業員が、30人以上いる（支社含む）	89 現在仕事をしていない

問29 あなたは現在、どのような仕事をしていますか（小学校教員、おもちゃの組み立て、車の修理、バスの運転手、経理の事務員、営業、本屋の店員、ファミレスのウェイターなど具体的に）

	88 現在仕事をしていない
--	------------------

問30 では、学校を卒業してから就いた最初の仕事で、どのような仕事をしましたか（具体的に）

	77 問29と同じ	88 就職しなかった
--	--------------	---------------

問31 そのとき、どのような形で働いていましたか（○は1つ）

1 自営業主、自由業者、家族従業員、内職	5 パート、アルバイト、臨時雇用
2 公務員、正社員	6 その他（具体的に）
3 派遣社員	
4 契約社員、嘱託社員	88 就職しなかった（専業主婦、学生、無職）

ご協力大変ありがとうございました。返信用封筒に入れてお送りください

もしこのアンケートや成蹊大学についてご意見ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。
可能なかぎり、関係者にお伝えします



資料 D 督促状

注意：かもめ〜る（図柄、すいか）を使用した。

西東京市民の皆さまへ アンケートご協力へのお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、私ども成蹊大学社会調査士課程室は、公職選挙法に基づいて選挙人名簿閲覧の許可を市役所からいただき、「第5回暮らしについての西東京市民アンケート」を実施しております。地域社会の実情と課題を明らかにするために、一人でも多くの方々のご支援をたまわりたいと考えております。返送期日は7月1日（月）ですが、**多少でしたら期日を過ぎても結構ですので**、どうか調査の趣旨をご理解いただき、ご返送くださいますよう改めてお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名で回収しておりますので、**調査対象の皆様全員に本状をお送りしています**。すでにご回答いただいている方々にはお詫び致しますとともに、調査へのご協力を心からお礼申し上げます。末筆ながら、皆さまの益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

2013年6月
成蹊大学文学部
社会調査士課程室
香川めい
月曜、水曜、木曜
13時～17時



成蹊大学社会調査実習 2013 年度報告書

—— 第 5 回 暮らしについての西東京市民調査 ——

発行日 2014 年 1 月 31 日

監 修 成蹊大学社会調査士課程

編 集 香川めい、渡邊大輔

発 行 成蹊大学社会調査士課程

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

電話 0422-37-3972

印 刷 東京技術協会
